

履 修 案 内

平 成 23 年 度

佐 賀 大 学 大 学 院
経 済 学 研 究 科

目 次

平成23年度 学年暦及び年間行事予定表	2
教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)	4
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)	6
授業科目の選び方	8
履修モデル	9
履修について	10
修了要件と学位	10
研究指導計画	10
修士論文要領	11
教 員 免 許	13
社会人のための特例による教育の実施について	16
経済学研究科規則	17
経済学研究科履修細則	20
開講科目(23年度・24年度)	25
講義概要(23年度前学期・後学期).....	31
大学院マニュアル	
学生センター平面図	79
大学院教務担当のお知らせ	80
授業料免除と奨学金制度	80
学生相談・保健管理センター	81
研究図書室の利用	82
情報演習室の利用	86
地域経済研究センターの利用	87
経済学会のご案内	88
大学院生室利用規則	89
教員研究室等案内図	91

平成23年度 学年暦及び年間行事予定表

月	日	曜	学 年 暦	行 事
4	1	金	前学期始, 春季休業 (4月7日まで)	学友会及びサークル紹介 (4日)(予定) 新入学生健康診断 (1, 2, 4日)(予定) 前学期授業時間割発表
	5	火	平成23年度入学式	研究科オリエンテーション (教育学・経済学・医学系・工学系) 学部オリエンテーション(医)(7日まで) 学生会紹介 (医学部のみ)
	6	水		学部オリエンテーション (文化教育, 経済, 理工, 農) 研究科オリエンテーション (農学)
	8	金	前学期開講	
7	26	火		前学期定期試験時間割発表
8	2	火		前学期定期試験 (8月8日まで)
	10	水	夏季休業 (9月30日まで)	
				大学説明会 (未定)
9	22	木	平成23年度学位記授与式 <9月期>	
	26	月		後学期授業時間割発表
	30	金	前学期終	
10	1	土	開学記念日, 後学期始	
	3	月	後学期開講	
	5	水	平成23年度大学院入学式 (工学系博士後期課程等)	
12	25	日	冬季休業 (1月5日まで)	

月	日	曜	学 年 暦	行 事
1	6	金	冬季休業明け授業開始	
	14	土		平成24年度大学入試センター試験 (1月15日まで) (予定)
	31	火		金曜日の代替日
2	3	金		後学期定期試験時間割発表
	10	金		後学期定期試験 (2月16日まで)
	25	土		平成24年度前期日程入学試験 (2月26日まで) (予定)
3	12	月		平成24年度後期日程入学試験 (3月13日まで) (予定)
	23	金	平成23年度学位記授与式 〈3月期〉	
	31	土	後学期終	

7月29日, 8月1日・9日, 2月7日・8日・9日・17日は風水害対応の予備日
12月16日, 2月3日は入試対応の予備日

(参考) 平成24年度

4	1	日	前学期始, 春季休業 (4月5日まで) (予定)	
	3	火	平成24年度入学式	
	4	水		学部オリエンテーション (予定)
	6	金	前学期開講 (予定)	

注: 予備日については, 通常の休講等に対応するものではなく, 入試試験及び台風等の風水害の到来他による大学全体の臨時休業等に充当するものである。

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

教育研究の理念と目的

経済学研究科の教育目的は、「経済学及び経営学・法律学の教育・研究によって幅広い視野と豊かな応用力を培い、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成すること」(「経済学研究科規則」第1条)である。各専攻では、教育目的を達成するための教育の目標を掲げ、それにしたがって開講科目の設置趣旨を定め、カリキュラムを編成している。

経済学研究科の2専攻とも、基礎科目4単位を必修とするほか、「総合セミナー」2単位と「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」8単位を必修科目としている。そのほか各専攻の選択科目を履修することを定めている。

全教員がオンラインでのシラバスを作成しており、授業科目ごとの成績評価基準をシラバスに明示している。

成績評価基準を佐賀大学大学院学則第17条の2に定め、修了要件を第18条に定めている。修了認定について、2専攻において組織的に判定し、研究科委員会の議を経て決定している。

教育目標及び開講科目の設置趣旨

金融・経済政策専攻

1 教育目的

国際経済、国民経済、地域経済等の諸問題を経済学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること

2 教育目標

日本国内のみならず国際的、地域的な現代経済社会の構造と、諸問題・課題の発生とそれに対応するための企業、地域、国家、国際的な政策について、理論的あるいは実践的に研究し、広い視野と深い洞察に基づいて課題の発見と解決の方途を探究する能力を養成する。

- (1) 金融・経済政策のなかの基礎的な分野の研究と教育。
- (2) 情報処理や外国語能力などの研究のための基礎的スキルを身につける。
- (3) 経済社会の構造を理論的に把握する能力と、歴史的に、国際的な比較のなかで、またグローバルな関係として把握する能力を身につける。
- (4) 地域社会や国民経済の抱える経済問題を把握し、その経済的、法的な解決方策を解明する能力を身につける。
- (5) 個別的・具体的課題を設定した研究の指導。

3 対応する開講科目の設置

- (1) の目標に対応して、基礎的な科目として「金融経済論研究」「産業政策論研究」「公共財政論研究Ⅰ」「行政基礎法研究Ⅰ」により、金融、産業、政府の役割を考える。
- (2) の目標に対応して、「情報基礎」「実用外国語」の必修科目によりスキルを向上させる。
- (3) の目標に対応して、「マクロ経済データ分析研究」「応用計量経済学研究」「社会選択理論研究」「数理経済分析研究」による理論的分析能力を磨き、「日本社会史研究」「日本アジア比較経済史研究」「西欧産業社会構造分析研究」により歴史的な把握能力を高め、「発展途上国経済論研究」「開発経済学研究」「比較労働経済研究Ⅰ・Ⅱ」により、国際的比較やグローバルな視野で経済構造を把握する能力を向上させる。
- (4) の目標に対応して、地域社会と地方自治体、産業と産業の構造、市民社会と政府との関係を把握するために、「農業経済論研究」「地域農業政策研究」「地域経済社会論研究」「経済地理学研究」「地域経済論研究」「地域政治研究」「地方自治法制研究」「地域福祉研究」「地方財政研究」「政策評価研究」「行政基礎法研究Ⅱ」「福祉政策研究」「公共財政論研究Ⅱ」により、問題や課題の解決能力を身につける。
- (5) 「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「総合セミナー」「フィールドワーク」により、個別的・具体的課題を設定して理論的、実践的に研究を深め、2年間をかけて修士論文を作成・発表する。指導教員により課題研究、論文作成を指導する。

企業経営専攻

1 教育目的

企業経営等の諸問題を経営学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること

2 教育目標

経済のグローバル化、情報技術の発展、産業構造の変化など企業・経営をとりまく環境の変化に対応するために、幅広い専門知識に裏づけられた現状認識と深い洞察力が求められる。それに対応して、経営・会計・法律にわたる広く確かな基礎知識を身につけ、課題の発見と解決能力をもった人材を養成する。

- (1) 企業経営のなかの基礎的な分野の研究と教育。
- (2) 情報処理や外国語能力などの研究のための基礎的スキルの修得。
- (3) 情報通信技術・資源と統計的情報を分析・活用する能力を身につける。
- (4) 企業の機構と経営資源の展開に関する諸問題を理論的、歴史的に把握するとともに、その解決方法を導き出す能力を身につける。
- (5) 企業および経営に関する諸問題を法的側面から把握・解明して、その解決策を見出す能力を身につける。

(6) 個別的・具体的課題を設定した研究の指導。

3 対応する開講科目の設置

- (1) の目標に対応して、基礎的な科目として「マーケティング論研究」「流通経済論研究」「経営分析論研究」「経済法研究Ⅰ」「契約法研究」により、企業活動の戦略、経営分析、法的な取り決めなどの広く基礎的企業経営に関する基礎知識を身につける。
- (2) の目標に対応して、「情報基礎」「実用外国語」の必修科目によりスキルを向上させる。
- (3) の目標に対応して、「地域データ解析研究」「統計情報研究」「時系列データ解析研究」「応用統計研究」により統計データの分析能力を向上させ、「情報処理研究」「情報システム論研究」「情報資源管理研究」「応用通信システム研究」「経営情報システム研究」により情報通信の技術や資源を活用する能力を身につける。
- (4) の目標に対応して、「組織論研究Ⅰ」「組織論研究Ⅱ」「経営組織論研究」，「投資決定研究」「企業論研究」「法と経済研究」，「現代労使関係研究Ⅰ」「現代労使関係研究Ⅱ」「経営史研究」「経営管理史研究」により経営管理を理論的、歴史的に把握する能力を身につけ、「流通システム論研究」「商業経済論研究」により市場と企業活動の分析・実践的能力を身につける。また、「経営財務論研究」「簿記論研究」「財務会計論研究」「管理会計論研究Ⅰ」「管理会計論研究Ⅱ」「国際会計論研究」により財務・会計から企業経営を把握する能力を身につける。
- (5) の目標に対応して、「企業法研究Ⅰ」「企業法研究Ⅱ」「会社法研究」により企業組織の法制度を、「労働関係法研究」「福利厚生関係法研究」「企業福祉法研究」により企業経営の法的責任と法制度について、「民法研究Ⅰ」「民法研究Ⅱ」「産業経済法研究」「経済法研究Ⅱ」「環境法研究Ⅰ」「環境法研究Ⅱ」「刑法研究」「経済刑法研究Ⅱ」により企業間取引の基本的ルールと企業責任について、法律的に把握し、解決する能力を身につける。
- (6) 「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「総合セミナー」「フィールドワーク」により、個別的・具体的課題を設定して理論的、実践的に研究を深め、2年間をかけて修士論文を作成・発表する。指導教員により課題研究、論文作成を指導する。

学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

経済学研究科修士課程の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）において、経済学研究の教育目的および目的を実現するための教育目標を述べ、専攻ごとに身につけさせる学習成果を示している。

学修の成果に係る評価及び修了の認定の客観性と厳密性を確保するため、学生に対してすべてのシラバスにおいて、成績評価基準をあらかじめ明示し、その基準にしたがって適切に評価する。

異議申し立て制度により、成績評価の正確さを保証する。

修了認定は、2専攻とも制度に則って判定し、研究科委員会の議を経て決定している。

金融・経済政策専攻

1 学生に身につけさせる能力

国際経済、国民経済、地域経済のなかで生起する諸問題について、経済学と法律学の理論的、歴史的、政策的な幅広い視野から解明して、実践的に対応しうる研究能力を身につけている。

2 学位の審査方法

学生の取得単位数を研究科教務委員会において判定し、修士論文審査報告書をもとに研究科委員会で判定し、研究科委員会の議を経て修了認定を行っている。

企業経営専攻

1 学生に身につけさせる能力

経営管理や会計などの経営学、企業活動に関する法律学の専門知識を身につけるとともに、企業経営の抱える諸問題について実践的に対応しうる研究能力を身につけている。

2 学位の審査方法

学生の取得単位数を研究科教務委員会において判定し、修士論文審査報告書をもとに研究科委員会で判定し、研究科委員会の議を経て修了認定を行っている。

授業科目の選び方

- (1) 教育研究分野・授業科目の内容及び担当教員を参照しながら設定する。
- (2) 多様な高度知的人材の養成という研究科の目的にそって、研究科修了後の進路に対応した履修モデルを示しておく。

〈金融・経済政策専攻〉

金融機関勤務	金融・政策分析分野の科目を中心に、数量経済分析分野、企業関係法分野の科目も選ぶ。
自治体勤務	地域・福祉政策分野の科目を中心に、金融・政策分析分野、比較経済分野の科目も選ぶ。
国際経済研究に関する仕事	比較経済分野の科目を中心に、金融・政策分析分野、地域・福祉政策分野の科目も選ぶ。
公民科教員	数量経済分析分野、金融・政策分析分野、地域・福祉政策分野の科目を中心に選ぶ。

〈企業経営専攻〉

企業法務担当者	企業関係法分野の科目を中心に、会計分野、金融・政策分析分野の科目も選ぶ。
経理専門職	会計分野の科目を中心に、統計情報分野、経営管理分野の科目も選ぶ。
商業科教員	経営管理分野、会計分野、統計情報分野の科目を中心に選ぶ。

博士課程進学を希望する学生は、指導教員と相談のうえ履修計画をつくる。

(3) 講義及び演習

講義：履修モデルをなす各授業科目について、教員の講義と学生による討論

演習：学生自らの研究分野を中心とする発表と教員の討論

共通科目：コンピュータの利用法など、コンピュータに関する情報基礎並びにネイティブスピーカーによる経営・経済の実務に必須の実用外国語の学修

基礎科目：1年生を対象に金融・経済政策専攻、企業経営専攻のそれぞれの専攻の基礎をなす科目であり、各専攻分野の基礎的素養の涵養を目的として開講する。

フィールドワーク I, II：学外での調査研究とレポート作成で実践的能力を養う。

総合セミナー：2年生対象。論文作成能力を養うため、学生自身が本人の研究テーマを中心として、専攻分野の複数の教員と学生から構成されるグループで発表、討議を行う。

必修、選択の内訳、○は単位数

必修科目 14単位	基礎科目④ (②×2), 演習 I ④, 演習 II ④ 総合セミナー②
選択必修 2単位	情報基礎②, 実用外国語② いずれか1科目
選択科目	7科目14単位以上 フィールドワーク I, II

演習 I, 演習 II は通年科目。

総合セミナーは2年次、夏季集中として実施。

フィールドワーク I, II は集中講義として実施。

＜金融・経済政策専攻＞

I. 金融・産業政策履修モデル

	演習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単位数
1年前期	演習 I	実用外国語	金融経済論研究	社会選択理論研究 企業論研究	10
1年後期	演習 I		産業政策論研究	発展途上国経済論研究 政策評価研究 地域経済社会論研究	10
2年前期	演習 II 総合セミナー			応用計量経済学研究 公共財政論研究 II	8
2年後期	演習 II				2
修了要件単位数	10	2	4	14	30

II. 公共経済履修モデル

	演習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単位数
1年前期	演習 I	実用外国語	金融経済論研究 公共財政論研究 I	企業論研究	10
1年後期	演習 I			産業政策論研究 経済地理学研究 地域経済社会論研究 地域福祉研究	10
2年前期	演習 II 総合セミナー			応用計量経済学研究 公共財政論研究 II	8
2年後期	演習 II				2
修了要件単位数	10	2	4	14	30

*演習 I, 演習 IIは通年科目。総合セミナーは夏期集中講義。

＜企業経営専攻＞

I. 経営学履修モデル

	演習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単位数
1年前期	演習 I	情報基礎	マーケティング論研究	商業経済論研究 組織論研究 I 環境法研究 I	12
1年後期	演習 I		経営分析論研究	管理会計論研究 I	6
2年前期	演習 II 総合セミナー			流通システム論研究 法と経済研究 組織論研究 II	10
2年後期	演習 II				2
修了要件単位数	10	2	4	14	30

II. 会計学履修モデル

	演習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単位数
1年前期	演習 I	情報基礎	マーケティング論研究	簿記論研究 統計情報研究	10
1年後期	演習 I		経営分析論研究	管理会計論研究 I 財務会計論研究 産業政策論研究	10
2年前期	演習 II 総合セミナー			法と経済研究	6
2年後期	演習 II			国際会計論研究	4
修了要件単位数	10	2	4	14	30

*演習 I, 演習 IIは通年科目。総合セミナーは夏期集中講義。

履修について

- 1 Webによる履修登録になるので、詳しくは掲示を見ること。不明な点があれば教務課経済学研究所教務担当に問い合わせること。
(未定教科があっても、まず登録して後日の確認期間内に修正が行える。)
フィールドワーク、総合セミナーは学期途中から開始されるので、その都度履修登録手続きをすること。
- 2 演習、フィールドワークの時間割は、教員と学生との話し合いにより決定する。
- 3 一般選抜、外国人留学生特別選抜による学生は、課程修了に必要な30単位のうち、10単位以内(演習を含む。)を夜間の授業時間で履修し、単位を修得することができる。

修了要件と学位

(1) 修了要件

本研究科に原則として2年以上在学して、所定の授業科目について30単位(演習8単位、その他22単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、本研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。

(2) 学位

上記修了要件を満たした者には、修士(経済学)の学位を授与する。

研究指導計画

基礎科目により基礎的素養を涵養し、履修モデルをなす授業科目により高度知的人材となる学力を涵養し、フィールドワーク、共通科目(情報基礎、実用外国語)によって実践的能力を養う。

入学時に、指導教員と相談のうえ研究題目を提出する。2年次に受講する「総合セミナー」の前までに修士論文の題目を絞込み提出期限までに修士論文を完成させる。論文作成に必要な資料収集・分析、文献解読・考証などの能力は「演習」によって養い、「総合セミナー」ではグループ討議・報告により幅広い視野からの論文作成能力を養う。

1年	4月	研究題目の提出
2年	夏季休暇中	総合セミナーにおいて報告
2年	12月20日	論文題目の提出期限
2年	1月10日	修士論文および論文要旨の提出

修士論文要領

(提出者)

- 1 所定の授業科目の単位を修得した者又は修得見込みの者は修士論文を届出ることができる。

(提出期限)

- 2 修士論文の提出期限は1月10日午後5時とし、毎年12月20日午後5時までに論文題目を提出するものとする。(期限日が土曜、日曜、休日の場合は直後の平日を期限日とする。)

(使用言語)

- 3 修士論文は日本語を原則とする。なお外国語については申し出により考慮する。

(字 数)

- 4 修士論文の字数は2万字(例400字詰原稿用紙50枚)以上とし、あわせて論文要旨(1000字以内)を提出するものとする。

ただし修士論文の字数については申し出により、内容及びテーマを勘案して別途考慮することもある。

なお外国語論文の場合の字数(論文要旨の字数も含む)については上記3の考慮の際あわせて考慮する。

(提出部数)

- 5 修士論文、論文要旨とも各4部提出するものとする。ただし3部はコピーでもよい。

(言語と字数につき別途考慮を求める者の手続き)

- 6 上記3、4に定める別途考慮を求める者は予めその旨を指導教員に申し出て、許可を受けなければならない。

なお許可を受けた場合は論文題目提出時にその旨を付記するものとする(付記のない場合は2万字以上の日本語による論文提出予定者とみなす)。許可、不許可は指導教員が通知する。

(用 紙)

- 7 修士論文及び論文要旨に原稿用紙を用いる場合はA4判400字詰原稿用紙を使用するものとする。ワープロを用いる場合はA4判白紙を使用し、全角を1字として1ページに1200字程度になるよう印字するものとする。

(面接)

8 修士論文提出者は指導教員が指定する日時(2月中を予定)に論文に関する面接をうけなければならない。

(修士論文の評価基準)

- 9 (1) 修士論文の題目に関する文献・資料を広く渉猟していること。
(2) 当該研究分野の既存の研究動向をよく踏まえていること、そして独自の分析視点が組み入れられていること。
(3) 上記内容が首尾一貫性を有し、目次、結論、論文要旨を通じ、論文全体の構成が明快になっていること。
(4) 修士論文審査における質疑応答において明晰な論文内容・趣旨が報告・説明されること。

(修士論文題目届出様式例)

平成 年 月 日	
佐賀大学大学院 経済学研究科長 様	
専攻名 学籍番号 氏名	印
経済学研究科修士論文題目名の届出について	
このことについて、経済学研究科修士論文要領第2に基づき下記のとおり届出いたします。	
記	
1. 修士論文題目名	
2. 指導教員名	
指導教員	印
副指導教員	
3. その他特記事項(経済学研究科修士論文要領3及び4について、該当があればその旨を記載)	

社会，公民，商業の専修免許状

既に中学校教諭一種免許状（社会），または高等学校教諭一種免許状（公民，商業）を取得している者は，本研究科において所定の単位を修得すれば当該教科の専修免許状（中学校，高等学校）を取得することができる。

専攻	教育職員免許状の種類	免許の教科
金融・経済政策専攻	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	公民
企業経営専攻	高等学校教諭専修免許状	商業

教員免許種別授業科目

専攻名	教育・研究分野	授 業 科 目	教員名	免 許 種 別			
				中学校	高 校		
				社 会	公 民	商 業	
金 融 ・ 経 済 政 策	数量経済分析	数理経済分析研究	都 築	○	○		
		マクロ経済データ分析研究	上 山 _和	○	○		
		現代経済分析研究	上 山 _和	○	○		
		応用計量経済学研究	上 山 _和	○	○		
		社会選択理論研究	都 築	○	○		
	金融・政策分析	金融経済論研究			○	○	○
		国際金融・証券論研究			○	○	○
		国際金融論研究			○	○	○
		産業政策論研究	飯 盛		○	○	
		農業経済論研究	品 川		○	○	
		公共財政論研究Ⅰ	納 富		○	○	
		公共財政論研究Ⅱ	納 富		○	○	
	比較経済	日本産業経済史研究			○		
		近代日本資本主義史研究			○		
		日本社会史研究	宮 島		○		
		日本アジア比較経済史研究	石 川		○		
		西欧産業社会構造分析研究	古 賀		○		
		比較経済思想研究			○	○	
		産業史研究			○		
		発展途上国経済論研究	ラタナーヤカ		○		
		開発経済学研究	ラタナーヤカ		○		
		比較労働経済研究Ⅰ	富 田		○	○	
	比較労働経済研究Ⅱ	富 田		○	○		
	地域・福祉政策	経済地理学研究	戸 田		○		
		地域経済論研究	戸 田		○		
		地域農業政策研究	長		○		
		地域経済社会論研究	長		○		
地域福祉研究		森		○	○		
福祉政策研究		森		○	○		
行政基礎法研究Ⅰ		井 上		○	○		
行政基礎法研究Ⅱ		井 上		○	○		
地方自治法制研究		奈 須		○	○		
地域政治研究		畑 山		○	○		
政策評価研究		中 西		○	○		
地方財政研究		中 西		○	○		

専攻名	教育・研究分野	授業科目	教員名	免許種別				
				中学校	高校			
				社会	公民	商業		
企業	統計情報	情報処理研究				○		
		情報システム論研究				○		
		地域データ解析研究	常盤				○	
		情報資源管理研究					○	
		応用通信システム研究	安田				○	
		経営情報システム研究	羽石				○	
		統計情報研究	田川				○	
		時系列データ解析研究	中村				○	
		応用統計研究	中村				○	
	業	経営管理	経営財務論研究	大坪			○	
			経営史研究	山本	○		○	
			現代労使関係研究Ⅰ	平地	○		○	
			現代労使関係研究Ⅱ	平地	○		○	
			投資決定研究					○
			経営管理史研究	山本				○
			組織論研究Ⅰ	松尾				○
組織論研究Ⅱ			松尾				○	
企業論研究			三好				○	
法と経済研究			三好				○	
マーケティング論研究			岩永				○	
流通システム論研究			岩永				○	
商業経済論研究			宮崎				○	
流通経済論研究	宮崎				○			
経	会計	財務会計論研究	山形			○		
		簿記論研究	木戸田			○		
		管理会計論研究Ⅰ	小川			○		
		管理会計論研究Ⅱ	小川			○		
		経営分析論研究	山下			○		
		国際会計論研究	山下			○		
営	企業関係法	企業法研究Ⅰ	小西	○		○		
		企業法研究Ⅱ	小西	○		○		
		会社法研究		○		○		
		労働関係法研究		○		○		
		福利厚生関係法研究	丸谷	○		○		
		企業福祉法研究	丸谷	○		○		
		産業経済法研究		○		○		
		経済法研究Ⅰ	岩本	○		○		
		経済法研究Ⅱ	岩本	○		○		
		環境法研究Ⅰ	檜澤	○		○		
		環境法研究Ⅱ	檜澤	○		○		
		民法研究Ⅰ	栗林	○		○		
		民法研究Ⅱ	栗林	○		○		
		契約法研究	中山	○		○		
		刑法研究	小坂	○		○		
経済刑法研究	小坂	○		○				
共通科目	情報基礎							
	実用外国語							
単位数	必要単位数		24以上	24以上	24以上			

社会人のための特例による教育の実施について

大学院設置基準第14条では、「修士課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され、社会人等の修学に配慮がなされています。

本学大学院経済学研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は、次のとおりです。

- (1) 特例の適用を受ける者は、修業年限2年間にわたり夜間における履修を認められる。
- (2) 特例の適用により履修しようとする者のため、夜間の授業時間帯を2時限（18:00～19:30及び19:40～21:10）設ける。
- (3) 学生には、年度始めに2年間にわたる講義計画を予告し、指導教員の指導のもとに2年間を見通した履修計画を立てさせる。

（注） 一般選抜により入学を許可された社会人であっても、特例の適用を受けることができる。

経済学研究科規則

(趣 旨)

第1条 佐賀大学大学院経済学研究科（以下「研究科」という。）に関する事項は、国立大学法人佐賀大学規則（平成16年4月1日制定）、佐賀大学大学院学則（平成16年4月1日制定。以下「大学院学則」という。）及び佐賀大学学位規則（平成16年4月1日制定。以下「学位規則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(研究科の目的)

第1条の2 研究科は、経済学及び経営学・法律学の教育・研究によって幅広い視野と豊かな応用力を培い、知識基礎社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成することを目的とする。

(専攻の目的)

第1条の3 研究科の各専攻の目的は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 金融・経済政策専攻 国際経済、国民経済、地域経済等の諸問題を経済学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること。
- (2) 企業経営専攻 企業経営等の諸問題を経営学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること。

(専攻及び講座)

第2条 研究科の専攻に次の講座を置く。

専 攻 名	講 座 名
金融・経済政策専攻	経営システム、地域政策、国際経済社会、経済情報、法政策
企業経営専攻	

(指導教員)

第3条 学生の専攻分野の研究を指導するため、学生ごとに指導教員を置く。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第4条 授業科目、単位数及び履修方法は、佐賀大学大学院経済学研究科履修細則（平成16年4月1日制定）に定めるところによる。

- 2 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(他の大学院等における授業科目の履修)

第5条 学生は、大学院学則第14条の規定に基づき、他の大学院及び外国の大学院の授業科目を履修することができる。

- 2 指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他専攻及び他の研究科の授業科目を履修することを認めることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第6条 研究科が必要と認めるときは、大学院学則第15条の規定に基づき、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(他の大学院等における研究指導)

第7条 学生は、大学院学則第17条の規定に基づき、他の大学院又は研究所等（外国の大学院又は研究所等を含む。）において、必要な研究指導を受けることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

2 指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他の研究科において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

(履修手続)

第8条 履修しようとする授業科目については、各学期とも所定の期間に定められた方法により履修手続をしなければならない。ただし、学期の途中から開始される授業科目については、その都度履修手続をしなければならない。

(成績判定及び単位の授与)

第8条の2 授業科目を履修した場合には、成績判定の上、合格した者に対して所定の単位を与える。

2 成績判定は、平素の学修状況、出席状況、学修報告、論文及び試験等によって行う。

3 成績は、秀・優・良・可・不可の評語をもって表わし、秀・優・良・可を合格とし、不可は不合格とする。

(試験)

第9条 試験は、毎学期末又は毎学年末において授業担当教員が行う。

(学位論文の提出)

第10条 学位規則第7条第1項の規定により、修士の学位の授与を受けようとする者は、申請書類とともに、学位論文を指定した期日までに研究科長に提出しなければならない。

(学位論文審査員)

第11条 佐賀大学大学院経済学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）は、修士論文の審査のため、研究科の教員の中から3人以上の学位論文審査員（以下「審査員」という。）を選出し、うち1人を主査とする。

2 前項の規定にかかわらず、学位論文の審査に当たって必要があるときは、研究科委員会の議を経て、他の研究科、他の大学院又は研究所等（外国の大学院又は研究所等を含む。）の教員等を審査員に加えることができる。

(入学者の選考)

第12条 入学者の選考は、その志望する専攻を修めるために必要な学力及び能力について行う。

(研究生及び科目等履修生)

第13条 研究科の教育研究に支障のないときは、研究科委員会の議を経て、研究生及び科目等履修生の入学を認めることができる。

2 研究生及び科目等履修生として入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第52条に定める大学を卒業した者

(2) 研究科委員会において前号と同等以上の学力があると認められた者

(特別研究学生)

第14条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別研究学生として研究指導を受けることを認めることができる。

(特別聴講学生)

第15条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別聴講学生として授業科目を履修することを認めることができる。

(転入学又は再入学を許可された者の既修得単位等の認定)

第16条 研究科に転入学又は再入学を許可された者が、佐賀大学の大学院又は他の大学院（外国の大学院を含む。）で既に修得した単位数及び在学した期間は、研究科委員会の議を経て通算することができる。

(雑 則)

第17条 この規則に定めるもののほか、研究科に関し必要な事項は、研究科委員会において定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成19年7月20日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

2 平成19年3月31日において現に在学する者（以下「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

経済学研究科履修細則

(趣 旨)

第1条 佐賀大学大学院経済学研究科規則（平成16年4月1日制定。以下「研究科規則」という。）第4条の規定に基づく佐賀大学大学院経済学研究科（以下「研究科」という。）の授業科目、単位数及び履修方法は、この細則の定めるところによる。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第2条 授業科目及び単位数は、各専攻ごとに別表Ⅰ、別表Ⅱ及び別表Ⅲに定めるとおりとする。

2 学生は、各専攻ごとに別表Ⅰ又は別表Ⅱに掲げる自専攻の授業科目から22単位以上（基礎科目から4単位以上、演習Ⅰ4単位、演習Ⅱ4単位、及び総合セミナー2単位を含む。）、自専攻又は他専攻の授業科目から6単位以上、別表Ⅲの共通科目の中から2単位以上の計30単位以上を履修しなければならない。

3 演習については、演習Ⅰ、演習Ⅱを2年間にわたり履修するものとする。
ただし、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとし、自専攻の授業科目をもって演習Ⅱに代えることができる。

(単位認定)

第3条 研究科規則第5条及び第6条の規定により履修した授業科目の単位数は、6単位を限度として、前条第2項に定める自専攻又は他専攻の授業科目から6単位のうちに含めることができる。

2 佐賀大学教育学研究科における開講科目のうち別表Ⅳ「他研究科共通科目」に掲げる授業科目の履修による単位数は、前条第2項に定める自専攻又は他専攻の授業科目から6単位のうちに含めることができる。

3 成績評価は、試験、レポート、平素の発表等により行う。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

1 この細則は、平成19年4月1日から施行する。
2 平成19年3月31日において現に研究科に在学する者は、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

1 この細則は、平成21年4月1日から施行する。
2 平成21年3月31日において現に研究科に在学する者は、なお従前の例による。

附 則

1 この細則は、平成22年4月1日から施行する。
2 平成22年3月31日において現に研究科に在学する者（以下、「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降において在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則

1 この細則は、平成23年4月1日から施行する。

別表 I (第 2 条関係)

金融・経済政策専攻

科目区分	教育・研究分野	授業科目	単位数	備考			
基礎科目		金融経済論研究	2	} 4 単位選択必修			
		産業政策論研究	2				
		公共財政論研究 I	2				
		行政基礎法研究 I	2				
専	数量経済分析	数理経済分析研究	2				
		マクロ経済データ分析研究	2				
		現代経済分析研究	2				
		応用計量経済学研究	2				
		社会選択理論研究	2				
	金融・政策分析	国際金融・証券論研究	2				
		国際金融論研究	2				
		国際経済政策研究	2				
		農業経済論研究	2				
		公共財政論研究 II	2				
門	比較経済	日本産業経済史研究	2				
		近代日本資本主義史研究	2				
		日本社会史研究	2				
		日本アジア比較経済史研究	2				
		西欧産業社会構造分析研究	2				
		比較経済思想研究	2				
		産業史研究	2				
		発展途上国経済論研究	2				
		国際関係論研究	2				
		開発経済学研究	2				
		比較労働経済研究 I	2				
		比較労働経済研究 II	2				
		科	地域・福祉政策		経済地理学研究	2	
					地域経済論研究	2	
地域農業政策研究	2						
地域経済社会論研究	2						
地域福祉研究	2						
福祉政策研究	2						
行政基礎法研究 II	2						
地方自治法制研究	2						
地域政治研究	2						
政策評価研究	2						
地方財政研究	2						
目				演習 I	4	演習 I, 演習 II, 総合セミナーは 必修	
				演習 II	4		
				総合セミナー	2		
				フィールドワーク I(金融・経済政策)	2		
				フィールドワーク II(金融・経済政策)	2		

別表II (第2条関係)

企業経営専攻

科目区分	教育・研究分野	授業科目	単位数	備考	
基礎科目		マーケティング論研究	2	} 4単位選択必修	
		流通経済論研究	2		
		経営分析論研究	2		
		経済法研究Ⅰ	2		
		契約法研究	2		
専門	統計情報	情報処理研究	2		
		情報システム論研究	2		
		地域データ解析研究	2		
		情報資源管理研究	2		
		応用通信システム研究	2		
		経営情報システム研究	2		
		統計情報研究	2		
		時系列データ解析研究	2		
			応用統計研究		2
	経営管理		経営財務論研究		2
			経営史研究Ⅰ		2
			現代労使関係研究Ⅰ		2
			現代労使関係研究Ⅱ		2
			投資決定研究		2
		経営管理史研究	2		
		組織論研究Ⅰ	2		
		組織論研究Ⅱ	2		
		経営組織論研究	2		
		企業組織論研究	2		
会計		法と経済研究	2		
		流通システム論研究	2		
		商業経済論研究	2		
		財務会計論研究	2		
		簿記論研究Ⅰ	2		
		簿記論研究Ⅱ	2		
		管理会計論研究Ⅰ	2		
		管理会計論研究Ⅱ	2		
		国際会計論研究	2		
	科目	企業関係法	企業法研究Ⅰ	2	
企業法研究Ⅱ			2		
会社法研究			2		
労働関係法研究			2		
福利厚生関係法研究			2		
産業福祉法研究			2		
産業経済法研究Ⅱ			2		
環境法研究Ⅰ			2		
環境法研究Ⅱ			2		
民法研究Ⅰ			2		
民法研究Ⅱ			2		
刑法研究			2		
経済刑法研究			2		
目				演習Ⅰ	4
		演習Ⅱ	4		
		総合セミナー	2		
		フィールドワークⅠ(企業経営)	2		
		フィールドワークⅡ(企業経営)	2		

別表III (第2条関係)

共通科目

教育・研究分野	授業科目	単位数	備考
共通科目	情報基礎	2	} 選択必修
	実用外国語	2	

別表Ⅳ(第3条関係)

他研究科共通科目

教育・研究分野	授 業 科 目	単 位 数	備 考
共 通 科 目	地 理 学 特 論 A I	2	
	地 理 学 特 論 B I	2	
	法 律 学 特 論 A I	2	
	法 律 学 特 論 B I	2	
	経 済 学 特 論 I	2	
	国 際 経 済 学 特 論 I	2	

開 講 科 目

開 講 科 目

金 融 ・ 経 済 政 策 専 攻					平成23年度		平成24年度		
科目 区分	分野	教 員 名	授 業 科 目 名	単位	前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎 科目		飯盛 信男	産業政策論研究	2		○		● (非常勤講師)	
		納富 一郎	公共財政論研究Ⅰ	2	●				
		井上 亜紀	行政基礎法研究Ⅰ	2			●		
		(非常勤講師)	金融経済論研究		○				
専 門 科 目	数量 経済 分析	上山 和俊	マクロ経済データ分析研究	2	●				
			応用計量経済学研究	2			○		
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		都築 治彦	社会選択理論研究	2	○				
			数理経済分析研究	2			●		
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
	金融・ 政策 分析	飯盛 信男	演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		品川 優	農業経済論研究	2	○		●		
			演習Ⅰ	4					
		演習Ⅱ	4						
			納富 一郎	公共財政論研究Ⅱ	2			○	
		演習Ⅰ		4					
		演習Ⅱ	4						
	比 較 経 済	宮島 敬一	日本社会史研究	2		●		○	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
			石川 亮太	日本アジア比較経済史研究	2		○		●
				演習Ⅰ	4				
				演習Ⅱ	4				
		古賀 和文	西欧産業社会構造分析研究	2	●				
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		ラタナーヤカ・ ピヤダーサ	発展途上国経済論研究	2		●			
			開発経済学研究	2				●	
			演習Ⅰ	4					
演習Ⅱ			4						
富田 義典		比較労働経済研究Ⅰ	2		●				
		比較労働経済研究Ⅱ	2				○		
		演習Ⅰ	4						
	演習Ⅱ	4							

○印は昼間に開講することを示す。

●印は夜間に開講することを示す。

金融・経済政策専攻					平成23年度		平成24年度		
科目区分	分野	教員名	授業科目名	単位	前期	後期	前期	後期	
専門科目	地域・福祉政策	戸田 順一郎	経済地理学研究	2		○			
			地域経済論研究	2				●	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		長 安六	地域経済社会論研究	2		○			
			地域農業政策研究	2					
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		森 周子	地域福祉研究	2			●		
			福祉政策研究	2					○
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		井上 亜紀	行政基礎法研究Ⅱ	2	○				
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		奈須 祐治	地方自治法制研究	2	●			○	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		畑山 敏夫	地域政治研究	2	○			●	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		中西 一	政策評価研究	2					○
			地方財政研究	2			●		
演習Ⅰ	4								
演習Ⅱ	4								
全教員		フィールドワーク	2	○●	○●	○●	○●		
全教員		総合セミナー	2	○●		○●			

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

企業経営専攻					平成23年度		平成24年度		
科目区分	分野	教員名	授業科目名	単位	前期	後期	前期	後期	
基礎科目		岩永 忠康	マーケティング論研究	2	●				
		宮崎 卓朗	流通経済論研究	2			●		
		山下 寿文	経営分析論研究	2		●			
		岩本 諭	経済法研究Ⅰ	2				●	
		中山 泰道	契約法研究	2	○		●		
専門科目	統計情報	常盤 洋一	地域データ解析研究	2				○	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		安田 伸一	応用通信システム研究	2	○			●	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		羽石 寛志	経営情報システム研究	2		○			
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		田川正二郎	統計情報研究	2				○	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
	中村 博和	時系列データ解析研究	2		○				
		応用統計研究	2					●	
		演習Ⅰ	4						
		演習Ⅱ	4						
		大坪 稔	経営財務論研究	2		●		○	
			演習Ⅰ	4					
	演習Ⅱ		4						
	平地 一郎	現代労使関係研究Ⅰ	2		○				
		現代労使関係研究Ⅱ	2					●	
		演習Ⅰ	4						
		演習Ⅱ	4						
		山本 長次	経営史研究	2		●			
			経営管理史研究	2					○
	演習Ⅰ		4						
		演習Ⅱ	4						
		松尾 陽好	組織論研究Ⅰ	2	○				
			組織論研究Ⅱ	2				●	
	演習Ⅰ		4						
		演習Ⅱ	4						
		三好 祐輔	企業論研究	2	●				
			法と経済研究	2				○	
	演習Ⅰ		4						
		演習Ⅱ	4						
		岩永 忠康	流通システム論研究	2					
演習Ⅰ			4						
演習Ⅱ	4								
宮崎 卓朗	商業経済論研究	2	○						
	演習Ⅰ	4							
	演習Ⅱ	4							

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

企業経営専攻					平成23年度		平成24年度		
科目区分	分野	教員名	授業科目名	単位	前期	後期	前期	後期	
専門科目	会計	山形 武裕	財務会計論研究	2		○		●	
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		木戸田 力	簿記論研究	2	○		●		
			演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		小川 哲彦	管理会計論研究Ⅰ	2		○			
			管理会計論研究Ⅱ	2					●
			演習Ⅰ	4					
		山下 寿文	演習Ⅱ	4					
			国際会計論研究	2					○
			演習Ⅰ	4					
	企業関係法	小西 みも恵	演習Ⅱ	4					
			企業法研究Ⅰ	2		●			
			企業法研究Ⅱ	2				○	
			演習Ⅰ	4					
		丸谷 浩介	演習Ⅱ	4					
			福利厚生関係法研究	2	●				
			企業福祉法研究	2				○	
			演習Ⅰ	4					
		岩本 諭	演習Ⅱ	4					
			経済法研究Ⅱ	2		○			
			演習Ⅰ	4					
		榎澤 秀木	演習Ⅱ	4					
			環境法研究Ⅰ	2	○				
			環境法研究Ⅱ	2				●	
			演習Ⅰ	4					
		栗林 佳代	演習Ⅱ	4					
			民法研究Ⅰ	2				●	
			民法研究Ⅱ	2	○				
		中山 泰道	演習Ⅰ	4					
			演習Ⅱ	4					
		小坂 亮	演習Ⅱ	4					
			刑法研究	2				○	
			経済刑法研究	2	●				
			演習Ⅰ	4					
全教員 全教員		演習Ⅱ	4						
		フィールドワーク	2	○●	○●	○●	○●	○●	
		総合セミナー	2	○●		○●			

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

共 通 科 目					平成23年度		平成24年度	
科目区分	分野	教 員 名	授 業 科 目 名	単位	前 期	後 期	前 期	後 期
共通科目		田川正二郎	情報基礎	2	●			
		安田 伸一						
		羽石 寛志					●	
		マッカーサー ジョン ダグラス	実用外国語	2	○		○	
					●	●		

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

演習 I・II の履修について

1. いずれかの時間帯に原則として、1コマ開講する。(通年制)
2. 初年度に履修した演習を「演習 I」、2年度目に履修した演習を「演習 II」として扱う。
3. 演習は2年間にわたって履修するが、演習担当者は2年にわたって同一でも良いし、別々の担当者を選んでも良い。

講義概要

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30637100														
科目名	公共財政論研究 I														
担当教員 (所属)	納富 一郎 (経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	学生がレジュメを作成、報告、質疑応答する。														
講義概要	この科目は金融・経済政策専攻の「基礎科目」(必修科目)の一つです。基礎的な文献として、スティグリッツ『公共経済学』をテキストとして利用して、現代経済のなかの市場経済、これに対する公共部門の経済学を学びます。市場の失敗、公共部門の登場という論理やキーワードを理解して、金融リスク対応、環境政策分野、社会保障分野などで公共政策・経済学が必要となっていることを理解します。														
開講意図	現代経済のなかの市場の失敗、公共部門の登場という論理やキーワードを理解して、金融リスク対応、環境政策分野、社会保障分野などで公共政策・経済学が必要となっていることを理解します。環境、金融、社会保障、財政などのそれぞれの専門分野における理論を学ぶための基礎となることを狙っています。														
到達目標	キーワードを理解すること。 章をまとめ、発表することによる読解力を身につける。 質疑応答によるコミュニケーション、ディスカッション能力を身につける。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	J.E. スティグリッツ『公共経済学 (第2版)』日本語テキスト、 Joseph E. Stiglitz, Economics of the public sector (in English) を利用して、公共支出の理論を考える。 公共財と私的財 市場の失敗 公共選択論 官僚制度と効率 外部性と環境問題 支出政策の分析方法 費用・便益分析 医療と社会保険 福祉と社会保障 などの分野、問題領域を考える														
成績評価の方法と基準	1 この講義は演習形式で行いますので、参加者はレジュメ作成や報告を分担してください。積極的な参加を成績評価基準とします。 2 成績評価については、オフィスアワー時に開示します。														
開示する試験問題等	日常の学習過程のなかで疑問に答えます														
開示方法	オフィスアワーを利用して、成績評価についての疑問に答えます。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『公共経済学』</td> <td></td> <td>スティグリッツ</td> <td>東洋経済新報社</td> <td>2005</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	『公共経済学』		スティグリッツ	東洋経済新報社	2005	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
『公共経済学』		スティグリッツ	東洋経済新報社	2005											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	金曜日 13:30~17:00														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期																														
科目コード	30570000																																
科目名	金融経済論研究																																
担当教員(所属)	関村 正悟(経済学部)																																
単位数	2																																
曜日・校時																																	
曜日・校時 追記	8月中旬に4～5日間の集中講義となる(1日3～4コマ)																																
講義形式	受講者数にもよるが、各回、講義及び受講生の報告発表による議論が中心																																
講義概要	金融の制度、金融機関の行動、金融商品を全体として把握し、金融システムと金融機関、中央銀行の相互作用を比較制度分析により																																
開講意図	金融の制度の歴史的発展を理論的に理解し、今後の金融危機を防止できる見識と分析能力を付ける																																
到達目標	大学院修士レベルとしての国際的標準の知識水準																																
聴講指定	学部で金融論及びマクロ経済学を履修していることが望ましい																																
履修上の注意	講義は原則日本語で行うが留学生で日本語に問題のある学生は事前に講師に連絡すること。また英文の論文を読むことに困難のある聴講生も事前に連絡する事。毎回の授業で論文を読み発表してもらうので一カ月前までに各自に割り当てるので必ず講師に連絡する事。																																
授業計画	4つのテーマについて各1日毎行う。A. 金融のミクロ理論、情報の経済理論により1. 貨幣と信用 2. 企業活動と金融 3. 金融仲介の構造、4. 金利決定、Bポートフォリオ理論による 5. 金融市場の価格決定メカニズム、6. 債券市場、7. 株式市場、8. デリバティブ、Cマクロ経済学をベースに9. 中央銀行の役割、10. マネーサプライのプロセス、11. 金融政策の手段と目標、12. トランスミッションメカニズム D. 現代の金融課題へのアプローチ、13. サブプライ信用危機の構造、14. シャドーバンキングと証券化、15. 金融規制の経済学、16日本の金融システムと金融政策の問題点																																
成績評価の方法と基準	授業への参加度(50%)、授業での発表、(30%)、課題レポート提出(20%)																																
開示する試験問題等	各講義毎に例示する																																
開示方法	履修者全員の成績が確定したあと開示を希望する学生に通知する																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	なし																							
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																												
なし																																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デフレとの闘い</td> <td></td> <td>岩田一政</td> <td>日本経済新聞出版社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フォールト・ラインズ</td> <td></td> <td>ラグラム・ラジャン</td> <td>新潮社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>インベストメント</td> <td></td> <td>ボディ、マーカス、ケイン</td> <td>日経BP</td> <td></td> <td>上、下巻</td> </tr> <tr> <td>現代の金融政策：理論と実際</td> <td></td> <td>白川方明著</td> <td>日本経済新聞出版社</td> <td>2008</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	デフレとの闘い		岩田一政	日本経済新聞出版社			フォールト・ラインズ		ラグラム・ラジャン	新潮社			インベストメント		ボディ、マーカス、ケイン	日経BP		上、下巻	現代の金融政策：理論と実際		白川方明著	日本経済新聞出版社	2008	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																												
デフレとの闘い		岩田一政	日本経済新聞出版社																														
フォールト・ラインズ		ラグラム・ラジャン	新潮社																														
インベストメント		ボディ、マーカス、ケイン	日経BP		上、下巻																												
現代の金融政策：理論と実際		白川方明著	日本経済新聞出版社	2008																													
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL																												
名称	URL																																
オフィスアワー	講義開催日の17:00-18:00																																
その他	質問をe-mailで受け付けます。aoyamaseki@gmail.comただし回答は教室																																

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30531000														
科目名	マクロ経済データ分析研究														
担当教員(所属)	上山 和俊(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	水曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	ゼミ形式														
講義概要	計量経済モデルを利用する際に必要な計量経済理論および現実の経済活動より得られる経済統計データに関する問題点や推定結果の改善方法などについて考察する。														
開講意図	経済データを用いて経済現象の諸問題を実証的に解決する方法論について考察する。														
到達目標	経済データを用いた実証分析に関する評価および分析する能力の修得。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	受講生のレベルに適したテキストを選択し輪読する。														
成績評価の方法と基準	講義への受講状況および報告・発言等から総合的に成績評価を行う。														
開示する試験問題等	履修生に開示する。														
開示方法	成績評価については、該当学年の経済学部「成績評価問い合わせ用オフィスアワー」時に希望者(履修登録した本人)のみ受け付ける。このオフィスアワーについては追って指示する。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講生と相談の上、決定す</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	受講生と相談の上、決定す					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
受講生と相談の上、決定す															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	質問および相談等については授業終了時やメールなど原則随時。オフィスアワーについては追って指示する。														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30561600														
科目名	社会選択理論研究														
担当教員(所属)	都築 治彦(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜3時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	<p>ミクロ経済学とは、経済主体である個々の消費者や企業(生産者)を分析対象とし、消費者や企業の行う合理的な経済行動や、取引の場である市場、そして、取引の結果として生じる資源配分について研究する学問である。最も基本的な市場である完全競争市場では、市場メカニズムがうまく機能して、望ましい市場均衡が達成されることになる。一方で、現実の経済は非常に複雑であり、完全競争の前提をおくことが不適当な不完全競争状態も多数存在する。ここでは、完全競争市場の理論をふまえて、このような不完全競争市場について、ゲーム理論の手法を用いるなどして分析を行う。</p>														
開講意図	現代経済社会を理解するために必要不可欠な理論であるゲーム理論の基礎的な理論について学ぶ。														
到達目標	ゲーム理論の基礎である、戦略形、展開形、ゲームの解概念であるナッシュ均衡や部分ゲーム完全均衡、そしてビジネスの問題など現代経済社会への応用などについて理解する。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゲーム理論とは 2 戦略形ゲームとナッシュ均衡 3 展開形ゲームと部分ゲーム完全均衡 4 繰り返しゲーム 5 不完全競争市場について 6 複占市場のゲーム理論的分析 7 情報の不確実性 8 逆選択とモラルハザード 9 プリンシパル・エージェント問題とインセンティブ・コンパティビリティ 														
成績評価の方法と基準	平素の成績により行う														
開示する試験問題等	平素の成績により判定する。														
開示方法	平素の成績により判定する。														
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 5%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 10%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適宜指示する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	適宜指示する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
適宜指示する															
参考図書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 5%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 10%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	講義開始前後														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30626500														
科目名	農業経済論研究														
担当教員(所属)	品川 優(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	月曜2時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	世界ではWTO体制による自由貿易や2国間によるFTA交渉, 国内では経済財政諮問会議主導による農業改革, と日本農業をとりまく情勢はめまぐるしく変化している。このような状況の中で, 現在我が国が抱える食料問題, 農業問題, 農村問題について, その問題の背景, 課題, それらへの政策を研究することを目的とする。														
開講意図	世界・日本の食料・農業・農村を取り巻く環境について適切に把握できる能力を身につけること。														
到達目標	世界・日本の食料・農業・農村を取り巻く環境について適切に把握できる能力を身につけること。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	上記の問題に関するテキストを, 各受講者に担当箇所を割り当て報告してもらい, それにもとづき議論を行う。														
成績評価の方法と基準	出席状況及び報告・討論の内容により総合的に評価する。 評価の閲覧を希望する学生はオ, フィスアワー時に研究室に来ること。														
開示する試験問題等	講義内で指示する。														
開示方法	講義内で指示する。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">講義内で指示する</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	講義内で指示する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
講義内で指示する															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	月曜3時限														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30661000														
科目名	西欧産業社会構造分析研究														
担当教員(所属)	古賀 和文 (経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	金曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	ヨーロッパ統合に関する最近の研究動向を中心に抗議する。														
講義概要	ヨーロッパの戦後復興から今日のEU統合に至るまでの政治的・経済的な展開を順に後述していく。														
開講意図	今日の世界経済の中でEU27カ国の経済比重はアメリカより大きい。しかし、EUは「経済的には連邦、政治的には連合」という体制をとっている。今後、国家主権を制約する形で進むかどうかという予測をする上で、戦後の統合の実体を検討することは、現実的にも意味がある。														
到達目標	統合の実体を最近の研究成果を踏まえて再認識すること。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	講義の主要テーマは次の通りである。 戦後復興 アメリカとヨーロッパの関係 石炭鉄鋼共同体 経済共同体 イギリスとフランスのEECをめぐる問題														
成績評価の方法と基準	平素の意見発表、出席にて評価														
開示する試験問題等	けんきゅしつにての面談														
開示方法	質問応答による														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教科書は使用しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	教科書は使用しない					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
教科書は使用しない															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	金曜日3														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期													
科目コード	30752200															
科目名	行政基礎法研究Ⅱ															
担当教員(所属)	井上 亜紀(経済学部)															
単位数	2															
曜日・校時	月曜3時限															
曜日・校時 追記																
講義形式																
講義概要	私達の生活は、さまざまな形で国や自治体と関わっています。そこで、この授業では国や自治体の活動形式とそれに関わる住民の権利について具体的事例を挙げながら勉強したいと思っています。															
開講意図	行政に関する数多くの法律の基礎にある考え方を身につけてもらいたい。															
到達目標	行政法に関する基本的知識を身につけ、法学的に考察する力をつける。															
聴講指定																
履修上の注意																
授業計画	行政のさまざまな活動形式について自ら調べて報告してもらい、それについて討論します。															
成績評価の方法と基準	出席状況(回数と態度)および報告によって評価します。															
開示する試験問題等	特になし															
開示方法	特になし															
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">開講時に指定します。</td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	開講時に指定します。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
開講時に指定します。																
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				名称	URL										
名称	URL															
オフィスアワー	木曜日4校時(事前にメール等で連絡してください)															
その他																

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30763000														
科目名	地方自治法制研究														
担当教員(所属)	奈須 祐治(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	地方自治の法と制度を概説する。地方自治法を中心とする法律の枠組みのみならず、将来の制度改革のあり方を含めた政策的な内容にまで踏み込む。														
開講意図	日本は現在非常に流動的な状況にあり、理想的な統治のあり方について方向性を見出すことは困難である。ただ少なくとも地方自治の制度設計が極めて重要な論点となっていることは疑いない。そこで、この講義では、地方自治法その他の諸法律の解釈にとどまらず、自治体の制度設計のあり方についても広く議論することとする。														
到達目標	地方自治法制に関する高度な知識を身につけ、政策形成の基盤となる柔軟な思考と発想を養うこと。少なくとも下記教科書の内容を十分に熟知し、時事ニュースはその内容を理解するだけでなく、それに対して分析を加え、批評できるだけの知識を身につけることを目指す。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	講義は原則として、下記教科書の1章を2回の講義で消化することとする。1回めの講義では、事前に該当する章を履修者全員に読んできてもらったうえで、本の内容を少し掘り下げた解説を行う。2回目めの講義では、履修者に、それに関連する内容の調査・プレゼンをおこなってもらう。このサイクルを約7回繰り返すこととする。同書をすべてカバーすることはできないため、事前に履修者と相談し、どの章を取り上げるかを決定する。														
成績評価の方法と基準	出席点、講義中の議論への参加、プレゼンの内容、最終レポートで評価する。														
開示する試験問題等	すべて開示する。														
開示方法	希望者に個別に開示する。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現代地方自治</td> <td></td> <td>佐々木信夫</td> <td>学陽書房</td> <td>2009</td> <td>978-4313161405</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	現代地方自治		佐々木信夫	学陽書房	2009	978-4313161405
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
現代地方自治		佐々木信夫	学陽書房	2009	978-4313161405										
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時指示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	随時指示					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
随時指示															
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	毎回の講義終了後、またはメール(nasuy@cc.saga-u.ac.jp)で質問可。														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期													
科目コード	30774000															
科目名	地域政治研究															
担当教員(所属)	畑山 敏夫(経済学部)															
単位数	2															
曜日・校時	木曜 4 時限															
曜日・校時 追記																
講義形式																
講義概要	先進社会と一言でいっても多様な社会経済的個性が見られる。本授業では、「ヨーロッパ社会モデル」と呼ばれるような特徴ある経済社会のあり方を築いてきたヨーロッパを対象にして授業を進める。特に、フランス革命から「共和的統合モデル」として国民を国民共同体に統合してきた国であるフランスを中心にとりあげ、そのような統合の手段として平等や連帯の価値に依拠して、フランス版福祉国家を築いてきたことを学び、現代のグローバル化しつつある世界のなかで、「フランス的社会モデル」が直面している困難と、そのモデルがもっている有効性を考えてみたい。															
開講意図	深く検討することなく「小さな政府」がいいといった風潮が支配する現在だからこそ、福祉国家の役割と意義について考えてみたい。															
到達目標	アメリカ・モデルの社会だけではなく、先進社会も多様な個性をもっていること、21世紀の現在、どのような経済社会モデルが国民にとって有益化を考える基礎的な知識と情報を得ることが、本授業の到達目標である。															
聴講指定																
履修上の注意																
授業計画	本授業のテキストは適当な教材のコピーを配布し、授業の進行については最初の講義で説明する。															
成績評価の方法と基準	出席を中心に評価する。															
開示する試験問題等	試験は実施しない。															
開示方法	試験は実施しない。															
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">テキストは使わずに、授業中にプリントを配布する。</td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	テキストは使わずに、授業中にプリントを配布する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
テキストは使わずに、授業中にプリントを配布する。																
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				名称	URL										
名称	URL															
オフィスアワー	少人数クラスのため、随時、希望に応じて面談する。															
その他																

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30894000														
科目名	マーケティング論研究														
担当教員(所属)	岩永 忠康(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	火曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	講義と演習の組み合わせ。														
講義概要	特定のテキストを用いてマーケティング・流通・商業に関する専門的な知識・理論を学ぶ。														
開講意図	マーケティング・流通・商業に関する専門的な知識・理論を理解し習得させる。														
到達目標	マーケティング・流通・商業に関する文献を整理し、文献の意図や問題点を把握される。														
聴講指定	1年生以上														
履修上の注意	報告、レジメの内容、出席を重視する。														
授業計画	<p>マーケティング・流通・商業に関する特定のテキスト(学生と相談したテキスト)を用いて専門的な知識・理論を演習形式で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、テキスト選定、講義の進め方等、流通の概要 2、商業Ⅰ 3、商業Ⅱ 4、粧業Ⅲ 5、マーケティングⅠ 6、マーケティングⅡ 7、マーケティングⅢ 8、ビデオ観賞ないし視察 9、流通の側面Ⅰ 10、流通の側面Ⅱ 11、流通の側面Ⅲ 12、海外の流通Ⅰ 13、海外の流通Ⅱ 14、マーケティング・流通・商業の総括Ⅰ 15、マーケティング・流通・商業の総括Ⅱ 														
成績評価の方法と基準	レポート、出席状況、授業態度を加味しながら総合的に評価する。														
開示する試験問題等	評価等の開示は岩永の研究室で行う。														
開示方法	評価等の開示は岩永の研究室で行う。														
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 5%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 10%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">学生と相談の上、決定する。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	学生と相談の上、決定する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
学生と相談の上、決定する。															
参考図書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 5%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 10%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"> </td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名称</th> <th style="width: 40%;">URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	講義の前後、講義室で行う。														
その他	参考図書は、講義時に紹介する。														

開講年度	2011	開講時期	前学期																			
科目コード	31023000																					
科目名	契約法研究																					
担当教員(所属)	中山 泰道(経済学部)																					
単位数	2																					
曜日・校時	火曜2時限																					
曜日・校時 追記																						
講義形式	とりあげる課題について担当者を定め、報告してもらい、これを基に参加者で議論をし、理解を深める。																					
講義概要	現代社会で用いられている、種々の契約について、その問題点を学説、裁判の検討を通して明らかにする。																					
開講意図	現代社会で用いられている、種々の契約について、その問題点を裁判例を通じて明らかにする。並行して契約法の基礎的理解を深める。																					
到達目標	契約法の基礎的理解と現実に用いられている契約についての基礎的理解を得ること。																					
聴講指定																						
履修上の注意	六法は必ず持参すること。																					
授業計画	<p>取り上げる契約については、消費者売買に関するもの、与信契約に関するものを予定している。これについては受講者の希望を聞いたうえで、決定する。</p> <p>1週：とりあげるべき課題の提示と担当の割り振り。 2週：契約法の概説 3週：裁判例の検討 4週：裁判例の検討 5週：裁判例の検討 6週：裁判例の検討 7週：裁判例の検討 8週：裁判例の検討 9週：裁判例の検討 10週：裁判例の検討 11週：裁判例の検討 12週：裁判例の検討 13週：裁判例の検討 14週：裁判例の検討 15週：まとめ</p>																					
成績評価の方法と基準	平常の報告、議論への参加度、出席を総合評価して決定する。																					
開示する試験問題等	特になし。																					
開示方法	特になし。																					
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費者法判例百選</td> <td></td> <td>廣瀬久和 河上正二編</td> <td>有斐閣</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	消費者法判例百選		廣瀬久和 河上正二編	有斐閣								
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																	
消費者法判例百選		廣瀬久和 河上正二編	有斐閣																			
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商取引法</td> <td></td> <td>江頭憲治郎</td> <td>有斐閣</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費者法</td> <td></td> <td>大村敦志</td> <td>有斐閣</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	商取引法		江頭憲治郎	有斐閣			消費者法		大村敦志	有斐閣		
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																	
商取引法		江頭憲治郎	有斐閣																			
消費者法		大村敦志	有斐閣																			
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称	URL																
名称	URL																					
オフィスアワー	月曜2																					
その他																						

開講年度	2011	開講時期	前学期														
科目コード	30801600																
科目名	応用通信システム研究																
担当教員(所属)	安田 伸一 (経済学部)																
単位数	2																
曜日・校時	金曜3時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	本講義では、情報化という変化の社会に与える影響を分析し、現代社会の多様な問題を解決する手段としての情報化の役割を考察する。																
開講意図																	
到達目標																	
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画																	
成績評価の方法と基準																	
開示する試験問題等																	
開示方法																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	火曜日4校時																
その他																	

開講年度	2011	開講時期	前学期													
科目コード	30872800															
科目名	組織論研究 I															
担当教員 (所属)	松尾 陽好 (経済学部)															
単位数	2															
曜日・校時	水曜 2 時限															
曜日・校時 追記																
講義形式																
講義概要	組織の成立および、維持、存続、成長・発展にかかわるプロセスについて、組織論の基本的文献の輪読を通して考察する。															
開講意図	組織の成立および、維持、存続、成長・発展にかかわるプロセスについて考察する。															
到達目標	組織の成立および、維持、存続、成長・発展にかかわるプロセスについて理解する。															
聴講指定																
履修上の注意																
授業計画	1週：組織の考え方 2週：組織のおかれている今日的条件 3週：環境の中での組織 4週：働く場としての組織 5週：組織の実践系 6週：組織における個人 7週：働くことへの動機づけ 8週：コミュニケーション 9週：リーダーシップ 10週：組織文化 11週：組織変革 12週：ケース 13週：ケース 14週：ケース 15週：ケース															
成績評価の方法と基準	報告内容による平常点と期末のレポートを総合的に判断して評価する。															
開示する試験問題等	レポート課題															
開示方法	成績確定後、学生の請求によりお直接当該学生に開示する。															
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織マネジメント戦略</td> <td></td> <td>慶應義塾大学ビジネススクール編</td> <td>有斐閣</td> <td>2005年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	組織マネジメント戦略		慶應義塾大学ビジネススクール編	有斐閣	2005年	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
組織マネジメント戦略		慶應義塾大学ビジネススクール編	有斐閣	2005年												
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称	URL										
名称	URL															
オフィスアワー	月曜日 Ⅲ校時															
その他																

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30883500														
科目名	企業論研究														
担当教員(所属)	三好 祐輔 (経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	企業に関する基礎知識をつけるため、教科書(コピーも可)を輪読する														
開講意図	企業の種類、その仕組みについて勉強をし、企業とはなにか?という問題意識を抱いてほしい														
到達目標	企業についての基礎知識の習得ができること、特にプレゼンをすることに重点をおく														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Introduction 2 株式市場のマーケットストラクチャー 3 情報の経済学と企業統治 4 証券市場分析(ファイナンス理論の応用) 5 市場の失敗について 6 不確実性下の意思決定 7 モラル・ハザードについて 8 逆淘汰について 														
成績評価の方法と基準	出席と発表で評価する														
開示する試験問題等	講義の終了後に発表する。														
開示方法	氏名匿名で、学籍番号と点数を掲示する。														
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">資料名</th> <th style="width: 5%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 20%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">受講生と相談して決める。昨年は、受講生の興味のあるトピックス (e. x. 中国企業に関する論文) を選んで輪読した。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	受講生と相談して決める。昨年は、受講生の興味のあるトピックス (e. x. 中国企業に関する論文) を選んで輪読した。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
受講生と相談して決める。昨年は、受講生の興味のあるトピックス (e. x. 中国企業に関する論文) を選んで輪読した。															
参考図書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">資料名</th> <th style="width: 5%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 20%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	授業の終了後に行う。														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30905100														
科目名	商業経済論研究														
担当教員(所属)	宮崎 卓朗(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 4 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	現代の小売業・卸売業に関連した文献を読んでいくことで、さまざまな流通問題に関する理解を深めることを目標とする。														
開講意図	生活に密着した現代の流通を理解するためには、さまざまな流通問題に関心を向ける必要がある。本講義では自分たちに密接に関連した経済問題として流通を考えてもらうために、流通問題を解説する。														
到達目標	各国により異なる流通問題を分析するための基礎を習得する														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	1週：ガイダンス 2週：SPAに関する問題 3週：日本のSPA企業 4週：PB商品に関する問題 5週：日本のPB商品生産の現状 6週：コンビニエンス・ストアに関する問題 7週：日本のコンビニエンス・ストアの発展に関する問題 8週：流通系列化に関する問題 9週：日本の流通系列化に関する問題 10週：小売企業の国際化 11週：日本小売企業の国際化 12週：日本的取引慣行の変化(1) 13週：日本的取引慣行の変化(2) 14週：日本型総合スーパー 15週：講義のまとめ														
成績評価の方法と基準	レポートと平素の成績														
開示する試験問題等	試験は実施しない														
開示方法	試験は実施しない														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義の1週間前に関連する論文を指示する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	講義の1週間前に関連する論文を指示する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
講義の1週間前に関連する論文を指示する															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火：5校時														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30920500														
科目名	簿記論研究														
担当教員(所属)	木戸田 力(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜5時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	<p>企業会計の測定構造の研究は、従来意味論的および構文論的分野で積み重ねられてきた。このうち、意味論的分野の考察は、杉本典之氏の業績に基礎をおきつつ、会計環境が激動する状況における会計測定論の確立を学んでいきたい。当面、シュマーレンバッハやペイトンなどの会計理論を材料としてとりあげながら、講義をすすめていきたい。</p>														
開講意図	修士論文を完成させる基礎的な学力を養う。														
到達目標	修士論文を完成させる。														
聴講指定	1年生以上														
履修上の注意	大学時代に企業会計を学んだ者のみ履修すること。														
授業計画	ゼミナール形式をとる。														
成績評価の方法と基準	平常点(講義の出席および小テスト)により成績を評価したい。														
開示する試験問題等	開示しない。														
開示方法	開示しない。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生と相談の上決める。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	学生と相談の上決める。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
学生と相談の上決める。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	木6														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期																		
科目コード	30981500																				
科目名	福利厚生関係法研究																				
担当教員(所属)	丸谷 浩介(経済学部)																				
単位数	2																				
曜日・校時	水曜6時限																				
曜日・校時 追記																					
講義形式																					
講義概要	<p>日本国内で働く場合、日本の法定内福利厚生関係法規が適用される。とりわけ、働くことに関するルールは、働く者にとっても経営者にとっても無関心ではられない。他方で、中国の経済発展は、在中日系企業における働くルールの問題を生じさせている。この講義では、(1)日本における雇用社会のルールと、(2)中国における雇用社会のルールについて、その基本的なことを学習するものである。</p>																				
開講意図	<p>日本人学生にとっては、日本の働く事に関するルールがなぜできあがっているのかを基本的なことから考え直すことを目的としている。留学生にとっては、日本のルールを学んだ上で、自国の働く事に関するルールを比較検討することを目的としている。</p>																				
到達目標	<p>日本人学生にとっては、日本の労働法規の基本的な考え方を習得する。留学生にとっては、母国の労働法規の基礎を学び、日本国内企業と在外日系企業での働き方の差異を考える。</p>																				
聴講指定																					
履修上の注意																					
授業計画	<p>受講生との相談によって決定するが、(1)担当教員による日本の雇用社会に関する説明、(2)受講生による自国の雇用社会に関するルールの説明(報告)、(3)以上をふまえたディスカッションを考えている。以下は内容の例示である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社員は、会社の転勤命令にどこまで従わなければならないのか。 2. 女性社員は、アルバイトで夜に水商売をしてもいいのか。 3. 会社は、美人だけを採用してはダメなのだろうか。 4. 会社は、社員の電子メールをチェックしてもよいのであろうか。 5. 成果主義賃金は、公正な賃金システムであらうか。 																				
成績評価の方法と基準	日常の出席・報告・受講態度を総合考慮。																				
開示する試験問題等	試験を行わない。																				
開示方法	開示対象物なし																				
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変容する中国の労働法： 「世界の工場」のワークルール</td> <td></td> <td>山下昇, 龔敏編著</td> <td>九州大学出版会</td> <td>2010</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雇用社会の25の疑問：労働法再入門</td> <td>第2版</td> <td>大内伸哉著</td> <td>弘文堂</td> <td>2010</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	変容する中国の労働法： 「世界の工場」のワークルール		山下昇, 龔敏編著	九州大学出版会	2010		雇用社会の25の疑問：労働法再入門	第2版	大内伸哉著	弘文堂	2010	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																
変容する中国の労働法： 「世界の工場」のワークルール		山下昇, 龔敏編著	九州大学出版会	2010																	
雇用社会の25の疑問：労働法再入門	第2版	大内伸哉著	弘文堂	2010																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL																
名称	URL																				
オフィスアワー	随時																				
その他																					

開講年度	2011	開講時期	前学期													
科目コード	31002600															
科目名	環境法研究 I															
担当教員 (所属)	檜澤 秀木 (経済学部)															
単位数	2															
曜日・校時	火曜 5 時限															
曜日・校時 追記																
講義形式																
講義概要	環境法は、現代社会を考察する際に欠かせない知識となっている。 本授業は、環境法の概略を知ることが目的とするが、学生の興味に従ってテーマを絞ることは可能である。															
開講意図	環境法の概要を理解し、その特徴を認識する。															
到達目標	環境法の概要を理解する。															
聴講指定																
履修上の注意																
授業計画	学生の希望を聞いた後、詳細な授業計画を立てる。															
成績評価の方法と基準	普段の授業態度と学期末に行う小テストで評価する。															
開示する試験問題等	授業の中で説明する。															
開示方法	授業の中で説明する。															
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">特に指定しない。</td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	特に指定しない。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
特に指定しない。																
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				名称	URL										
名称	URL															
オフィスアワー	水 2 限目															
その他																

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	31012720														
科目名	民法研究Ⅱ														
担当教員(所属)	栗林 佳代(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	水曜3時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	本講では、民法に関する判例研究を行う。民法および民法関連法に関する基礎的知識があることを前提に、民法の重要判例を検討する。基本的に受講者の報告をもとに授業を進めることとする。なお、判例に関する報告は、論点整理をしたうえで、それに関する先例および学説の状況を報告してもらうこととする。このような判例検討を通して、民法および民法関連法に関する基礎的知識の定着および応用能力、事例分析能力を身につけることを目標とする。														
開講意図	民法および民法関連法に関する基礎的知識を身につけるだけでなく、それを深め、実践的に用いることができるようになることを意図している。														
到達目標	民法および民法関連法に関する基礎的知識の定着および応用能力、事例分析能力を身につけることを目標とする。														
聴講指定	民法の基礎的知識があること。														
履修上の注意															
授業計画	講義は、毎回、受講者の1人に指定した判例について報告してもらい、それに基づき受講者全員で討論するかたちで進める。														
成績評価の方法と基準	報告内容および討論での発言内容・積極性、出席状況等の平常点による総合評価。														
開示する試験問題等	成績評価に使ったすべてのもの。														
開示方法	成績が開示された後、1ヶ月間、要望があれば研究室にて直接に開示する。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">初回の講義で提示する。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	初回の講義で提示する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
初回の講義で提示する。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	随時(要事前連絡)														
その他	受講に際しては、六法を持参すること。														

開講年度	2011	開講時期	前学期
科目コード	31030000		
科目名	経済刑法研究		
担当教員(所属)	小坂 亮(経済学部)		
単位数	2		
曜日・校時	金曜 6 時限		
曜日・校時 追記			
講義形式	演習形式。		
講義概要	経済刑法、刑法の各分野を対象として、受講者による文献・判例の報告、または、外国語文献の講読を行い、それにもとづいて全員で議論を進めます。		
開講意図	経済刑法、刑法の各分野の概要についての知識を深めるとともに、経済刑法および刑法上の各学説の論理展開を理解し、文献読解能力等を向上させることを目指します。		
到達目標	文献の調査・収集・読解と、それにもとづいたレジュメ作成・報告、および、全員での議論ができるようになることを目標とします。		
聴講指定	1 年生以上。		
履修上の注意	六法を持参してください。		
授業計画	<p>以下の内容で講義を進めます。ただし、毎回の講義計画は大まかなものであり、また、理解の程度・説明の便宜等の都合により変更を加えることもあります。</p> <p>1週：ガイダンス 次回までの課題：それぞれの報告のテーマを決定する</p> <p>2週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(1) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>3週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(2) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>4週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(3) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>5週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(4) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>6週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(5) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>7週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(6) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>8週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(7) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>9週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(8) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>10週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(9) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>11週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(10) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>12週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(11) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>13週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(12) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>14週：文献・判例報告または外国語文献講読、および、議論(13) 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p> <p>15週：まとめ 次回までの課題：基本書等を用い講義で扱ったテーマの内容を整理する</p>		
成績評価の方法と基準	報告の内容・平常点・出席点等による総合評価。		
開示する試験問題等	全員の成績が確定後に、報告の評価を開示します。		
開示方法	開示を希望する場合は申し出てください。		

教科書	資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)
	出資法 (改訂版)		斎藤正和	青林書院	2000	441701258X
	新経済刑法入門		神山敏雄 [ほか] 編著 ; 嘉門優 [ほか執筆]	成文堂	2008	4-7923-0439-3
	刑法総論		高橋則夫著	成文堂	2010	
	たのしい刑法	第2版	島伸一編 ; [島伸一ほか著]	弘文堂	2008	
	法を学ぶパートナー		武藤眞朗 [ほか] 著	成文堂	2008	
参考図書	資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)
	刑法は企業活動に介入すべき		田口守一ほか	成文堂	2010	4792318599
	企業犯罪・不祥事の法政策—刑事処罰から行政処分・社内処分へ		白石賢	成文堂	2007	4792317762
	企業犯罪・不祥事の制度設計—インセンティブに基づく制度設計のすすめ		白石賢	成文堂	2010	4792318661
	ケースブック経済刑法 (第3版)		芝原邦爾ほか	成文堂	2010	4641042802
	環境犯罪と証券犯罪		西田典之 編	成文堂	2010	479231853X
リンク	名称		URL			
オフィスアワー	本学のホームページに掲載のオフィスアワー一覧を参照してください。					
その他	関連科目：刑法研究					

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	31050000														
科目名	情報基礎														
担当教員(所属)	田川 正二郎(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	月曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	計算機リテラシーの教育と研究。														
開講意図	パソコンを修士論文作成のための道具として使いこなせることを意図している。														
到達目標	ワープロ (MS Word) と表計算 (MS Excel) については、初級コースを修了した程度の学生を対象とし、さらに、論文やレポートを作成するために活用技法を習得することを目標とする。また、必要な経済データをインターネットから取得できるようになることも目標としている。														
聴講指定															
履修上の注意	授業中に作成したファイルを保存するためのUSBメモリを各自用意しておくこと。														
授業計画	次の4つの技法を重点的に、パソコンの実習を通して習得していく計画である。 1. 日本語入力 2. 文書作成 3. 表計算 4. インターネットを利用した経済統計の活用														
成績評価の方法と基準	出席点と授業中に作成したレポートの結果により評価する。														
開示する試験問題等	レポート課題の出題意図														
開示方法	毎回、レポート課題の出題意図を開示する。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プリントを用意する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	プリントを用意する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
プリントを用意する。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜日 5 校時														
その他															

開講年度	2011	開講時期	First half														
科目コード	31061000																
科目名	Practical English																
担当教員 (所属)	マッカーサー (経済学部)																
単位数	2																
曜日・校時	MON 6																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	Students should consult with the teacher to determine the content and nature of the class.																
開講意図	”																
到達目標	”																
聴講指定	”																
履修上の注意																	
授業計画	”																
成績評価の方法と基準	”																
開示する試験問題等	”																
開示方法																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>”</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	”					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
”																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>”</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	”					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
”																	
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	”																
その他																	

開講年度	2011	開講時期	First half													
科目コード	31061000															
科目名	Practical English															
担当教員 (所属)	マッカーサー (経済学部)															
単位数	2															
曜日・校時	WED 1															
曜日・校時 追記																
講義形式																
講義概要	Students should consult with the teacher to determine the content and nature of the class.															
開講意図	"															
到達目標	"															
聴講指定	"															
履修上の注意																
授業計画	"															
成績評価の方法と基準	"															
開示する試験問題等	"															
開示方法																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	"					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
"																
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	"					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
"																
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称	URL										
名称	URL															
オフィスアワー	"															
その他																

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30616000														
科目名	産業政策論研究														
担当教員(所属)	飯盛 信男 (経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 3 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	説明、報告、討議														
講義概要	わが国産業政策の推移をとらえる														
開講意図	わか国産業の現在の課題をつかむ														
到達目標	わが国産業政策を分析する力をつける														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	1週：日本経済の現状と展望 2週： 〃 3週：産業構造からみた戦後日本経済の変遷 4週： 〃 5週：構造改革のもとでの産業構造の変化 6週： 〃 7週：新産業創造戦略の検討 8週： 〃 9週：サービス部門雇用吸収の検討 10週： 〃 11週：サービス産業の新たな展開 12週： 〃 13週：日本経済の生産性向上とイノベーション 14週： 〃 15週：今後の展望														
成績評価の方法と基準	平素の成績														
開示する試験問題等	なし														
開示方法	なし														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構造改革とサービス産業</td> <td></td> <td>飯盛信男</td> <td>青木書店</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	構造改革とサービス産業		飯盛信男	青木書店		
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
構造改革とサービス産業		飯盛信男	青木書店												
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水曜日 3 校時														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期																			
科目コード	30660600																					
科目名	日本社会史研究																					
担当教員(所属)	宮島 敬一(経済学部)																					
単位数	2																					
曜日・校時	月曜 6時限																					
曜日・校時 追記																						
講義形式	講義																					
講義概要	近江および肥前の戦国期社会の諸相を論ずる																					
開講意図	戦国期社会の歴史的特異性・現代社会への規定性を理解させる																					
到達目標	日本史上における戦国期社会の位置・意義の理解																					
聴講指定																						
履修上の注意																						
授業計画	1)戦国期権力の形成と村落 2)戦国期の在地法秩序 3)戦国期の地方寺社と地域社会 4)戦国大名六角氏権力の特質 5)戦国大名浅井氏権力の特質																					
成績評価の方法と基準	レポート																					
開示する試験問題等	試験は課さない																					
開示方法	試験は課さない代わりにレポートの添削をする																					
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戦国期社会の形成と展開</td> <td></td> <td>宮島 敬一</td> <td>吉川弘文館</td> <td>1996</td> <td></td> </tr> <tr> <td>浅井氏三代</td> <td></td> <td>宮島 敬一</td> <td>吉川弘文館</td> <td>2008</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	戦国期社会の形成と展開		宮島 敬一	吉川弘文館	1996		浅井氏三代		宮島 敬一	吉川弘文館	2008	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																	
戦国期社会の形成と展開		宮島 敬一	吉川弘文館	1996																		
浅井氏三代		宮島 敬一	吉川弘文館	2008																		
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																	
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称	URL																
名称	URL																					
オフィスアワー	月曜4校時																					
その他																						

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30660800														
科目名	日本アジア比較経済史研究														
担当教員(所属)	石川 亮太(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	水曜1時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	日本経済史・アジア経済史の基本的な文献を講読・論議する。														
開講意図	日本・アジアの経済史的な事象について基礎的な知識を得るとともに、歴史的なパースペクティブから現代の事象について観察する能力を得ることを目的とする。														
到達目標	おもに19世紀から20世紀にかけての日本・アジア経済史に関する基本的トピックを理解すること。														
聴講指定															
履修上の注意	日本の高等学校で学習する程度の日本史・世界史の知識を要する。また大学学部程度のマクロ経済学の知識を要する。														
授業計画	指定する文献を輪読する形で行う。(第1回～第15回の課題) 指定する文献をあらかじめ読み疑問点等を整理しておくこと。また報告担当者については報告レジュメをあらかじめ準備しておくこと。														
成績評価の方法と基準	平常の授業参加状況によって評価する。														
開示する試験問題等	授業参加状況についての採点基準														
開示方法	1)履修者全員の成績が確定した後、開示する。 2)開示を希望する学生は、その旨申し出ること。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">授業中に指示する。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	授業中に指示する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
授業中に指示する。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水・7														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30694000														
科目名	発展途上国経済論研究														
担当教員(所属)	ラタナーヤカ(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	火曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	<p>本講義の主な目的は、とりわけ、アジア諸国の経済発展に関する諸問題を理論的かつ実証的に検討することである。同諸国の経済発展パターンのミクロ・マクロレベルの分析に必要な開発経済論を『分析の枠組み』として用いつつ、戦後のアジア経済・社会発展に関する諸問題について講義する。特に、1950年から現在までのアジアNIEs、ASEAN、とSAARC諸国の経済発展及び各国の経済成長率を比較しつつ、21世紀の世界経済におけるアジア経済の重要性について研究したい。特に、同諸国の世界一高い経済成長率と同時に、なぜ世界一貧困率も存在しているのかを具体的に開発経済論を下にして分析したい。</p> <p>また、アジア太平洋地域の現在と将来の経済・社会発展に対する日本の経済的役割、例えば政府開発援助(ODA)、日本企業の海外直接投資(JFDI)、についても論じる。希望者があれば、英語による議論も考える。</p>														
開講意図															
到達目標															
聴講指定															
履修上の注意	欠席をしないこと														
授業計画															
成績評価の方法と基準	出席、発表態度、小論文などを評価の方法とする。														
開示する試験問題等															
開示方法															
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	講義終了後														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30705100														
科目名	比較労働経済研究 I														
担当教員 (所属)	富田 義典 (経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	金曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	少人数なのでゼミナール形式で行う。														
講義概要	主に日本の雇用問題を欧米の雇用問題との比較で考えます。失業問題、労使関係、労働時間問題 (残業問題)、技能訓練、賃金問題などを、資料・データを手元におきつつ分析・解説します。														
開講意図	今日の日本の雇用問題の特徴をつかんでもらう。														
到達目標	開講意図に同じ。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 日本の労使関係 3. 欧米の労使関係 4. 日本の労働組合の機能 5. 欧米の労働組合の機能 6. 労働市場の機能 7. 日本の不安定雇用問題 8. 欧米の不安定雇用問題 9. まとめ 														
成績評価の方法と基準	平常の受講状況で判断します。 成績の閲覧とコメントを希望するものは、試験成績に関するオフィスアワーのときに研究室に来ること。														
開示する試験問題等	試験形式での成績判定は行わない。														
開示方法	開示を希望するものは、指定されたオフィスアワーに研究室をたずねること。														
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 10%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 5%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">開講前にお知らせします。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	開講前にお知らせします。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
開講前にお知らせします。															
参考図書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 10%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 5%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名称</th> <th style="width: 40%;">URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜日 5 時間目														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30592100														
科目名	経済地理学研究														
担当教員(所属)	戸田 順一郎(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 5 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	経済地理学とは経済活動における空間的側面を分析する学問である。本講義は、この経済地理学における理論・実証研究を国内外の文献に基づき概観、考察すること、およびそこから得られた視角をもとに現実の地域構造や地域経済に関する理解を深めることを課題とする。文献の選定については、受講者の関心を考慮したうえで初回の講義時に行いたい。														
開講意図	経済地理学の諸理論についての理解を深めること。														
到達目標	現実の地域構造や地域経済を分析するための視座の獲得。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	担当者による報告と、それに基づく参加者全員による討論という形式ですすめる。														
成績評価の方法と基準	平素の出席状況、授業中の発表、レポート内容などから総合的に評価する。														
開示する試験問題等	特になし。														
開示方法	評価等の開示を希望する者は電子メール(todaj@cc.saga-uac.jp)にて申込むこと。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義の中で指示する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>講義の中で指示する。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	講義の中で指示する。					講義の中で指示する。
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
講義の中で指示する。					講義の中で指示する。										
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	金曜日 3 校時														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30730400														
科目名	地域経済社会論研究														
担当教員(所属)	長 安六(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	水曜3時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	<p>混迷を続ける現代の日本経済社会体制下において、様々な問題を抱える地域経済社会の再建に向けて、経済社会に関する基本的な文献を幾つか取り上げ、理論的な考察を行うことにより、21世紀の地域経済社会のあり方を展望する。</p>														
開講意図	重層的な地域循環型経済社会システムに関する理論を構築する。														
到達目標	重層的な地域循環型経済社会に関する基本的理解が習得できている。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都市の論理と農村の論理 <ol style="list-style-type: none"> ① 農業と工業の生産システムの違い ② 農業と工業の経済システム ③ 社会構造でみた農業と工業 2. 農業の近代化 <ol style="list-style-type: none"> ① 農業の工業化 ② 農業の資本主義化 ③ 農村の都市化 3. 経済システムの再構成 <ol style="list-style-type: none"> ① 広義の経済と現物経済、生活世界、コミュニティ ② 市場経済とNPO ③ 資本主義経済と社会的規制 4. 社会的経済論 5. 地域内循環型経済社会の構築と地域経済社会 														
成績評価の方法と基準	講義での意見のやりとりの内容と出席点をもとに評価する。														
開示する試験問題等	なし														
開示方法	なし														
教科書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 10%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 5%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時、配布する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	随時、配布する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
随時、配布する															
参考図書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資料名</th> <th style="width: 10%;">版</th> <th style="width: 20%;">著者名</th> <th style="width: 15%;">発行所名 発行者名</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 5%;">備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名称</th> <th style="width: 40%;">URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜日2限目														
その他	テキストは使用しないで、適宜、資料を配布する。														

開講年度	2011	開講時期	後学期																																
科目コード	30740800																																		
科目名	地域福祉研究																																		
担当教員(所属)	森 周子(経済学部)																																		
単位数	2																																		
曜日・校時	水曜6時限																																		
曜日・校時 追記																																			
講義形式																																			
講義概要	日本の社会政策・社会保障・社会福祉の歴史的展開、現状、課題を、思想的側面及び制度的側面から考察する。社会政策と経済政策の関連性や、福祉国家・福祉社会についても取り上げたい。																																		
開講意図	日本の社会政策・社会保障・社会福祉についての理解を深める。基本的事項についても確認する。																																		
到達目標	社会政策・社会保障・社会福祉を理論的・制度的側面から理解する。																																		
聴講指定																																			
履修上の注意																																			
授業計画	*重要文献の輪読及び個別報告 ・輪読については、初回のガイダンス時に受講者の興味関心に合ったものを選定する。																																		
成績評価の方法と基準	出席点及び平常点																																		
開示する試験問題等	特になし																																		
開示方法	特になし																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">特になし(輪読文献は受講者と相談の上決定)</td> </tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	特になし(輪読文献は受講者と相談の上決定)																								
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																														
特になし(輪読文献は受講者と相談の上決定)																																			
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現代日本の生活保障システム: 座標とゆくえ</td> <td></td> <td>大沢真理著</td> <td>岩波書店</td> <td>2007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活保障: 排除しない社会</td> <td></td> <td>宮本太郎著</td> <td>岩波書店</td> <td>2009</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子どもの貧困: 日本の不公平を 考える</td> <td></td> <td>阿部彩著</td> <td>岩波書店</td> <td>2008</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本社会保障制度成立史論</td> <td></td> <td>田多英範</td> <td></td> <td>2009</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	現代日本の生活保障システム: 座標とゆくえ		大沢真理著	岩波書店	2007		生活保障: 排除しない社会		宮本太郎著	岩波書店	2009		子どもの貧困: 日本の不公平を 考える		阿部彩著	岩波書店	2008		日本社会保障制度成立史論		田多英範		2009	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																														
現代日本の生活保障システム: 座標とゆくえ		大沢真理著	岩波書店	2007																															
生活保障: 排除しない社会		宮本太郎著	岩波書店	2009																															
子どもの貧困: 日本の不公平を 考える		阿部彩著	岩波書店	2008																															
日本社会保障制度成立史論		田多英範		2009																															
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>U.R.L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称	U.R.L																													
名称	U.R.L																																		
オフィスアワー	木曜4限+随時 (mori@cc.saga-u.ac.jpにて事前アポを受け付ける)																																		
その他																																			

開講年度	2011	開講時期	後学期														
科目コード	30785200																
科目名	地方財政研究																
担当教員(所属)	中西 一 (経済学部)																
単位数	2																
曜日・校時	火曜 7 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式	Discussion with students using some materials																
講義概要	Mainly on fiscal governance and decentralization policy for developping countries																
開講意図	Having good background for development studies																
到達目標	None																
聴講指定	None																
履修上の注意	To be fixed through negotiation with students																
授業計画	Reading everytime imf or worldbank paper and discussion																
成績評価の方法と基準	Students' participation on discussion																
開示する試験問題等	None																
開示方法	None																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>None</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	None					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
None																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>None</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	None					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
None																	
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	Tuesday 1st																
その他	None																

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30942000														
科目名	経営分析論研究														
担当教員(所属)	山下 壽文(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	貸借対照表, 損益計算書およびキャッシュフロー計算書のしくみ, それらの数値を用いた経営分析の手法を学習する。演習問題およびケーススタディにより実戦能力を高める。														
開講意図	企業の経営分析の手法を学習し, 演習に基づき応用力を養う。														
到達目標	会社の財務諸表を入手し, 経営分析を行うことができるようになること。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	講義概要に基づき, 講義開始時に講義計画表を提示します。														
成績評価の方法と基準	報告およびレポート。														
開示する試験問題等	レポート														
開示方法	オフィス・アワー時開示。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特になし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	特になし					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
特になし															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チャレンジ!会計学</td> <td>http://book.geocities.jp/pksbk316/</td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL	チャレンジ!会計学	http://book.geocities.jp/pksbk316/								
名称	URL														
チャレンジ!会計学	http://book.geocities.jp/pksbk316/														
オフィスアワー	水曜日3校時														
その他	講義時にプリントを配布します。														

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30801800														
科目名	経営情報システム研究														
担当教員(所属)	羽石 寛志(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	月曜4時限														
曜日・校時 追記	受講生と相談し調整は可能である														
講義形式															
講義概要	現代社会の急速な情報化により、企業のみならず社会全体の変化が起こっている。そこで、企業における情報化とりわけ経営情報に関する研究を中心に行う。また、情報通信技術利用の人・組織の変化に関する研究も合わせて行いたい。														
開講意図	経営情報システムの現状と情報通信技術の利用による様々な影響に関することを研究するため。														
到達目標	経営情報システムの基本的な理解 情報通信技術の利用による影響に関する把握														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	最初に、経営情報システムの基礎を学ぶ。次に、最新事例を用い議論を行なっていきたい。 なお、講義形態は受講生がそれぞれの担当部分を報告し受講生全体で討論していく形態をとる。														
成績評価の方法と基準	講義の参加度と課題により総合的に評価する														
開示する試験問題等	成績内容														
開示方法	オフィスアワー時に研究室にて閲覧できるようにする。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義開始後受講生と相談し決定する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	講義開始後受講生と相談し決定する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
講義開始後受講生と相談し決定する															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水曜日3校時目														
その他	教科書等は受講生と相談し決定する														

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30823000														
科目名	時系列データ解析研究														
担当教員(所属)	中村 博和(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	月曜2時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	時系列データの分析の基本をまなぶ。ARIMAモデルによる分析の概要がわかるようになることが目標です。														
開講意図	経済時系列の処理について基本事項を習得してもらうこと。														
到達目標	時系列データの処理およびモデル作成の手順を理解し、統計ソフトによる分析ができるようになる。														
聴講指定															
履修上の注意	講義形式でおこないますが、統計的推定について基本の考え方を知っていることを前提にします。														
授業計画	<p>PCによる演習をいれながら進めます。以下は予定であり、受講者の理解をみて進行は変わります。</p> <p>1週：時系列データの例とその表示 2週：増減率の計算、トレンドの抽出 3週：成長曲線の推定 4週：指数平滑法による予測 5週：推定と検定の復習 6週：定常確率過程(1) 7週：定常確率過程(2) 8週：線形定常過程(1) ARモデルとMAモデル 9週：線形定常過程(2) ARMAモデルとARIMAモデル 10週：ARIMAモデルの推定 11週：ARIMAモデルによる予測 12週：非定常過程の問題 13週：総合演習(1) 14週：総合演習(2) 15週：総合演習(3)</p>														
成績評価の方法と基準	総合演習において各自がデータ分析に取り組み、その結果と取り組みの過程を総合的に評価します。														
開示する試験問題等	評価内容														
開示方法	評価内容については直接担当教員に問い合わせることができる。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資料を配布する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	資料を配布する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
資料を配布する															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	金曜日5時限目														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30830000														
科目名	経営財務論研究														
担当教員(所属)	大坪 稔(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	火曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	学生数が少ないときは講義形式、多い場合はゼミ形式にて進める														
講義概要	本講義では、経営財務、すなわち資金の側面からとらえた企業経営について学習する。さらに、財務数値を用いた簡単な実証分析の方法についても学習する。														
開講意図	経営財務に関する理論の習得														
到達目標	経営財務の理論を用い、財務数値を用いた実証分析														
聴講指定	大学院1, 2年生														
履修上の注意															
授業計画	1週：財務とは？ 2週：投資はどのように決定されるのか(1) 3週：投資はどのように決定されるのか(2) 4週：資金調達と資本構成に関する議論(1) 5週：資金調達と資本構成に関する議論(2) 6週：エージェンシーセオリー 7週：ポートフォリオ理論(1) 8週：ポートフォリオ理論(2) 9週：株価・債権の価格決定要因と変動要因 10週：フリーキャッシュフローとEVA 11週：配当政策 12週：財務面からみたM&A 13週：資本市場の役割と効率性 14週：近年の日本企業の財務行動(1) 15週：近年の日本企業の財務行動(2)														
成績評価の方法と基準	・講義への出席と質問内容により、評価 ・評価等の開示は、オフィスアワー時に研究室にて行う														
開示する試験問題等	講義への出席と質問内容により、評価														
開示方法	評価等の開示は、オフィスアワー時に研究室にて行う														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	未定					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
未定															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	月曜4限														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期														
科目コード	30831600																
科目名	現代労使関係研究 I																
担当教員 (所属)	平地 一郎 (経済学部)																
単位数	2																
曜日・校時	金曜 2 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式	演習形式で、各自の報告を元にして討論します。																
講義概要	今年度の本研究は、アジアにおける労使関係の国際比較を中心的なテーマとします。																
開講意図	労使関係の理解を深める。																
到達目標	同上。																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	受講生と相談した上で計画は立てます。																
成績評価の方法と基準	出席、レポート、討論内容など総合的に判定します。																
開示する試験問題等	定期試験はしない。																
開示方法	該当なし。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">テキスト等は、受講生と相談の上決定します。参考文献は、演習での議論の中で紹介します。</td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	テキスト等は、受講生と相談の上決定します。参考文献は、演習での議論の中で紹介します。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
テキスト等は、受講生と相談の上決定します。参考文献は、演習での議論の中で紹介します。																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"> </td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	水 3																
その他																	

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30831000														
科目名	経営史研究														
担当教員(所属)	山本 長次(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	月曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	今日的あるいは歴史的な経営管理のケースや理論の分析を深め、さらに調べてきたことの報告などをおこなっていきます。														
開講意図	各受講生の関心に応じて、経営管理に対する理解を深めます。														
到達目標	本授業が、大学院のレベルのものとして、各受講生の経営学に対する教養の取得や、専門的理解に資することをもって、一定の到達点とします。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	<p>広く経営やその歴史について、受講者の関心に即して資料、論文、テキストなどを適宜を設定しながら読解を進め、理解を深めていきます。</p> <p>今回は複数の受講者各人の関心に即して、国内外の著名な企業の経営のケーススタディを取り上げたり、各自が調べてきたことを報告したり、担当教員が資料やビデオ教材等も用いながらレクチャーをおこなったりしました。さらに、企業の方のお話をうかがったり、企業を訪れる機会を提供したりもしました。要望がありましたら、企業への訪問やフィールドワーク等の実施も検討したいと思います。</p>														
成績評価の方法と基準	<p>出席状況、参加意識、報告やレポートの内容などから判断します。</p> <p>また、成績評価への照会については、履修登録した希望者本人のみに対して受け付けます。その際は、できるだけ評価を確認した早いタイミングで、研究室を訪ねてください。不在の際は、研究室前に掲示してあるメールアドレスの方に連絡してもらい、対応日時についての調整をします。</p>														
開示する試験問題等	特に試験は実施しておりません。														
開示方法	評価については、各受講生からの照会に対して対応します。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">各受講生と相談の上、必要に応じてテキストや参考文献を適宜指示します。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	各受講生と相談の上、必要に応じてテキストや参考文献を適宜指示します。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
各受講生と相談の上、必要に応じてテキストや参考文献を適宜指示します。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火5とするとともに、適宜対応します。														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30910000														
科目名	財務会計論研究														
担当教員(所属)	山形 武裕(経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜4時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	日本では、連結会計、時価会計、キャッシュ・フロー計算書、税効果会計、退職給付会計、減損会計などの会計基準が、2000年以降新たに導入あるいは改正されている。本講義ではこのような会計ビッグバンと呼ばれる会計制度改革を学び、なぜそのような会計基準が導入されたのか、そしてどのような影響を与えたのかについて考えていきます。														
開講意図	現行の会計基準を過去の会計基準と比較、または国際会計基準と比較して議論します。														
到達目標	会計基準の修正項目または差異を考察することで、現行会計基準の理解を深めると共に、問題点を議論する能力の習得が目標です。														
聴講指定															
履修上の注意	なお、各自に課題を割り振るので講義時間前に準備を整え、各講義時間後には指摘された事項ならびに他の報告を参考に各自の課題を検討しなすこと。														
授業計画	授業計画は講義初日に提示します。														
成績評価の方法と基準	出席状況と期末試験または報告状況から評価します。 なお、期末試験による場合は、研究室にて希望者に解答を説明します。														
開示する試験問題等	成績評価の判断資料(課題等)を個別に開示します。														
開示方法	希望者には研究室にて個別に対応します。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキストは初回講義で指定します</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	テキストは初回講義で指定します					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
テキストは初回講義で指定します															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水曜日3校時														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期														
科目コード	30931100																
科目名	管理会計論研究 I																
担当教員 (所属)	小川 哲彦 (経済学部)																
単位数	2																
曜日・校時	金曜 3 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	企業内部の意思決定に役立つ情報を提供する管理会計に関する理論および計算手法等を学びます。																
開講意図	管理会計における各種手法を理解し、習得することを目的とします。																
到達目標	管理会計における各種手法の理解																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	毎週、受講者にテキスト・教材の報告担当箇所を事前に割りあて、報告者がレジюмеを作成し、報告し、討論します。																
成績評価の方法と基準	出席、報告内容等から総合的に判断します。																
開示する試験問題等	過去の報告資料																
開示方法	開示を希望する学生は、研究室へ来てください。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">講義中に指示します。</td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	講義中に指示します。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
講義中に指示します。																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	木曜 2 限																
その他																	

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30951000														
科目名	企業法研究 I														
担当教員 (所属)	小西 みも恵 (経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	水曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	この講義では、会社法に関する最近の判例を素材として、株式会社法の論点を議論します。														
開講意図	この講義は、判例の検討を通して、会社法をより深く解釈することを目的としています。														
到達目標	この講義の目標は、会社法のより深い知識を習得したうえで、論点に対する自己の見解を持つことです。														
聴講指定															
履修上の注意	商法および民法の基礎的な知識をすでに習得していることを前提とします。														
授業計画	毎回、判例を一つ取り上げ、各判例につき1人ずつ担当していただきます。担当者は、事案の概要、学説・裁判例の状況、当該判例の検討について、レジュメを作成してください。授業では、担当者による発表に基づき、全員で議論します。														
成績評価の方法と基準	出席状況、発表の内容および授業時の発言等を総合的に判断して、評価します。														
開示する試験問題等	成績評価の対象となるものはすべて														
開示方法	成績については個別に開示しますので、開示を希望する人は事前にメール (konishim@cc.saga-u.ac.jp) で申し込んでください。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度重要判例解説</td> <td></td> <td></td> <td>有斐閣</td> <td>2011年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	平成22年度重要判例解説			有斐閣	2011年	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
平成22年度重要判例解説			有斐閣	2011年											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水曜日 2 校時														
その他															

開講年度	2011	開講時期	後学期												
科目コード	30992400														
科目名	経済法研究Ⅱ														
担当教員(所属)	岩本 諭 (経済学部)														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 5 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	「独占禁止法と消費者」についての講義を行う。														
開講意図	独占禁止法は「市場」と「競争」の基本法(ルール)であり、また同法1条の目的規定のとおり「一般消費者の利益を確保」することを法の究極目的とする。本講義では、「消費者」に視点を置くことにより、独占禁止法の基本を把握するとともに、日本法における「独占禁止法」の位置づけを考察する。														
到達目標	受講者一人ひとりが「消費者」としての立場から、「市場」と「競争」のルールの基本を修得することを一つの目標とする。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	1週：オリエンテーリング 2週：消費者とはなにか 3週：消費者と価格(1)－定価とは何か 4週：消費者と価格(2)－「価格の横並び」とは何か 5週：消費者と価格(3)－安売りは、消費者にとって例外なく歓迎されることか 6週：消費者と選択(1)－新車はどの地域でも購入できるか 7週：消費者と選択(2)－「コンビニはなぜ高い」「弁当がゴミになる瞬間」 8週：消費者と選択(3)－「ドラクエと不人気ソフト」「ワードとエクセル」 9週：消費者と表示(1)－表示とは何か 10週：消費者と表示(2)－表示規制の仕組み～食品表示を素材として 11週：消費者と表示(3)－広告も表示である 12週：消費者と景品・懸賞付販売(1)－景品・懸賞天国ニッポンとグローバルスタンダード 13週：消費者と景品・懸賞付販売(2)－‘進化した景品’～マイレージ・ボーナスポイント 14週：日本法における消費者(1)－独占禁止法と消費者法 15週：日本法における消費者(2)－国民生活白書〔平成20年度〕から透けて見える光景														
成績評価の方法と基準	講義への参加状況と、質疑応答の態様														
開示する試験問題等	定期試験は行わない。														
開示方法	空欄														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">開講時に指示する。</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	開講時に指示する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
開講時に指示する。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"> </td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	金 5														
その他															

開講年度	2011	開講時期	通年												
科目コード	31031000														
科目名	演習 I														
担当教員 (所属)	指導教員														
単位数	4														
曜日・校時															
曜日・校時 追記	教員と学生との話し合いにより決定する。														
講義形式															
講義概要	それぞれの研究題目に即した内容で、資料収集、資料分析、文献解読、考証などの基本的な能力を養う。教員の指導による学生自身の報告を中心とする。														
開講意図															
到達目標															
聴講指定	1年次生														
履修上の注意															
授業計画	開講時に指示する。														
成績評価の方法と基準	平素の成績、およびレポート提出による。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・ 発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・ 発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL								
名称	URL														
オフィスアワー															
その他															

開講年度	2011	開講時期	通年												
科目コード	31042000														
科目名	演習Ⅱ														
担当教員（所属）	指導教員														
単位数	4														
曜日・校時															
曜日・校時 追記	教員と学生との話し合いにより決定する。														
講義形式															
講義概要	それぞれの研究題目に即した内容で、資料収集、資料分析、文献解読、考証などにつき、より高度な能力を養い、論文執筆に必要な論述の能力も養う。教員の指導による学生自身の報告を中心とする。														
開講意図															
到達目標															
聴講指定	2年次生														
履修上の注意															
授業計画	開講時に指示する。														
成績評価の方法と基準	平素の成績、およびレポート提出による。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL								
名称	URL														
オフィスアワー															
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30544100, 30544200, 30544300, 30544400														
科目名	フィールドワーク														
担当教員 (所属)	全教員														
単位数	2														
曜日・校時															
曜日・校時 追記	集中講義														
講義形式															
講義概要	教員の指導の下で、国内外の金融機関、行政機関、国際機関、民間企業、農村農業団体、工場、法務・経理関連オフィス、商店街、商工経済団体などを対象に調査研究を行い、レポートを作成して提出する。														
開講意図															
到達目標															
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	開講時に通知する。														
成績評価の方法と基準	平素の成績、およびレポート提出による。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・ 発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・ 発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL								
名称	URL														
オフィスアワー															
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30545000														
科目名	総合セミナー														
担当教員(所属)	金融・経済政策専攻教員														
単位数	2														
曜日・校時															
曜日・校時 追記	前期が終えた直後の夏休みに行く														
講義形式															
講義概要	修士論文作成に取りかかっている二年生を対象とするので、金融・経済政策専攻および企業経営専攻の教員の中から当該学生が取り組んでいる修士論文が関連研究分野となる教員を選んで行う。また複数の指導教員のもとにおこなう。修論作成上の諸注意、また作成構想への助言、また草稿段階でも添削・個別指導助言を徹底して修論作成の準備万端を整える。														
開講意図															
到達目標															
聴講指定	2年生が対象。しかし演習には一年時学生も参加可能。将来の修士論文作成に役立つため。														
履修上の注意															
授業計画	<p>第一回 総合セミナー実施に関する全般的概要の講義 第二回 担当教員甲による、参加学生のプレゼンテーションと討議(1) 第三回 担当教員甲による、参加学生のプレゼンテーションと討議(2) 第四回 担当教員甲による、参加学生のプレゼンテーションと討議(3) 第五回 担当教員甲による総評提示(1) 第六回 担当教員甲による総評提示(2) 第七回 担当教員乙による、参加学生のプレゼンテーションと討議(1) 第八回 担当教員乙による、参加学生のプレゼンテーションと討議(2) 第九回 担当教員乙による、参加学生のプレゼンテーションと討議(3) 第十回 担当教員乙による総評提示(1) 第十一回 担当教員乙による総評提示(2) 第十二回 担当教員丙による、参加学生のプレゼンテーションと討議(1) 第十三回 担当教員丙による、参加学生のプレゼンテーションと討議(2) 第十四回 担当教員丙による、参加学生のプレゼンテーションと討議(3) 第十五回 担当教員乙による総評提示</p> <p>以上のスケジュールは参加学生が三人、指導教員が三人の場合を想定している。 この組み合わせ、およびスケジュールは学生と指導教員の協議による</p>														
成績評価の方法と基準	総合セミナーにおける発表の内容、発表の仕方の円滑さ、指導教員からの質問内容に対応できる答弁能力で総合的に判断する。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">総合セミナーの性格上、特になし。</td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年	総合セミナーの性格上、特になし。				
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年											
総合セミナーの性格上、特になし。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">同上</td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年	同上				
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年											
同上															
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL								
名称	URL														
オフィスアワー	各教員の都合にあわせた時間帯を設定する。														
その他															

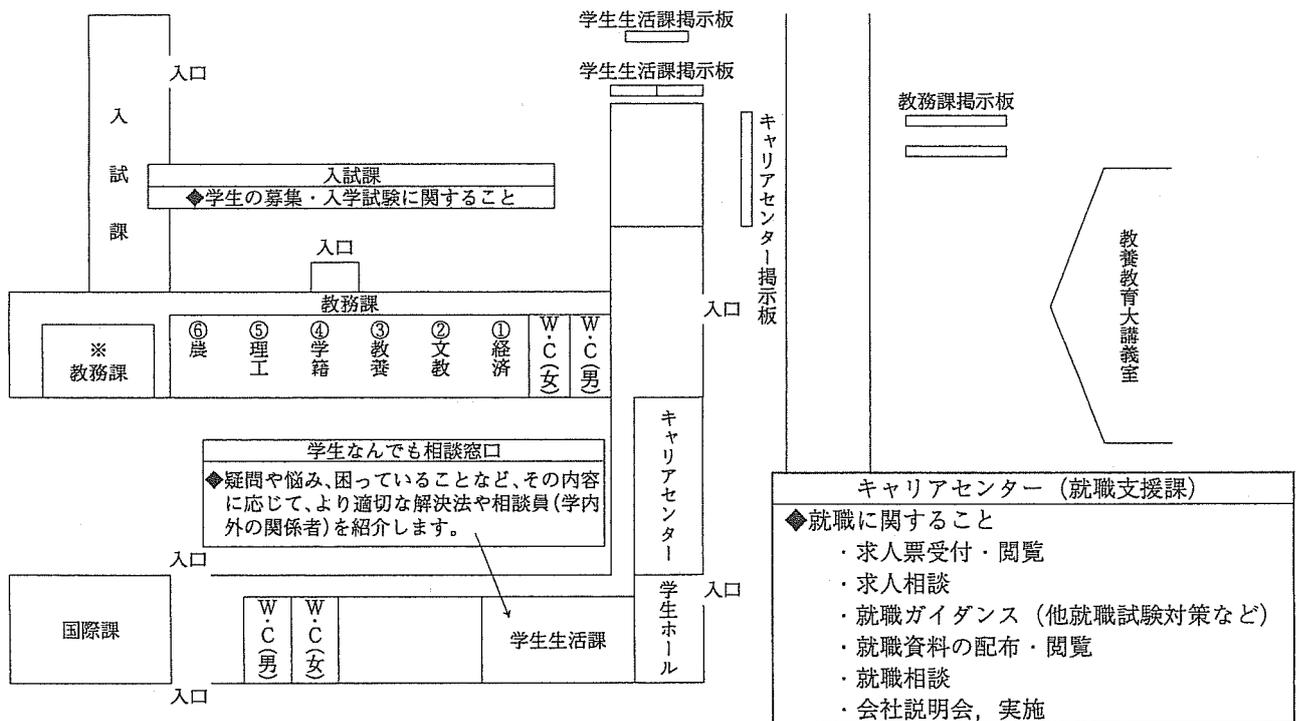
開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30545000														
科目名	総合セミナー														
担当教員(所属)	企業経営専攻教員														
単位数	2														
曜日・校時															
曜日・校時 追記	前期(夏季) 集中														
講義形式															
講義概要	企業経営専攻の院生が最低1回ないし2回の報告と検討を行い、全体で15回の講義とする。														
開講意図	院生の研究テーマ(修士論文)についての概要を報告させ、それについての指導を行う。														
到達目標	院生の研究テーマ(修士論文)の中間報告の指導を行い、最終的に修士論文を完成させる。														
聴講指定															
履修上の注意	出席、報告を重視する。														
授業計画	企業経営専攻の院生が最低1回ないし2回の報告と検討を行い、全体で15回の講義とする。														
成績評価の方法と基準	成績評価の方法—各回のプレゼンテーションを各担当教員が評価し、実施責任者がとりまとめ、60点以上を合格とする。														
開示する試験問題等	開示—————評価等の開示は指導教員の研究室で行う。														
開示方法	開示—————評価等の開示は指導教員の研究室で行う。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">特に指定なし。ただし報告に必要な文献は随時演習時に紹介している</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	特に指定なし。ただし報告に必要な文献は随時演習時に紹介している					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
特に指定なし。ただし報告に必要な文献は随時演習時に紹介している															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">使用しない</td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	使用しない					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
使用しない															
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	主任指導教員、副主任指導教員を中心として参加教員の研究室等														
その他															

大学院マニュアル

●学生センターの配置図及び業務

教務課	
※教育企画担当	※教務管理担当
◆授業評価に関する事	◆学生証に関する事 ◆学生の身上に関する事 改姓・改名・住所変更・保証人変更等

教務課		
①②③⑤⑥各教務担当	③教養教育管理担当	④学籍管理担当
◆専門科目の実施・履修相談等に関する事 ◆各種証明書の申請・交付に関する事 ◆大学院の学位申請に関する事 ◆教育職員免許取得に関する事 ◆追・再試験等に関する事 ◆転学・転学部・転課程・転専攻等に関する事 ◆教育実習に関する事	◆教養教育科目のティーチングアシスタントに関する事	◆異動に関する事 ・休学、復学、退学 ◆科目等履修生に関する事 ◆研究生に関する事 ◆単位互換に関する事



国際課
◆留学生に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・国費外国人留学生給与 ・外国人留学生奨学金 ・国際交流会館 ・住宅総合補償 ・留学生チャーター申請 ・申請書の申請・交付 <ul style="list-style-type: none"> ・資格外活動申請 ・再入国申請 ・在留期間更新申請 ・証明書の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・国費外国人留学生証明書 ・各種奨学金受給証明書
◆日本人学生に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・海外短期派遣 ・海外語学研修

学生生活課
◆入学料・授業料の免除・徴収猶予に関する事 ◆奨学金に関する事 ◆学生教育研究災害傷害保険に関する事 ◆学生寮に関する事 ◆課外活動に関する事 ◆学生会館，サークル会館，合宿研修所に関する事 ◆体育施設に関する事 ◆自動車入構許可に関する事 ◆旅客運賃割引に関する事 ◆通学定期に関する事 ◆遺失物・拾得物に関する事

大学院教務担当のお知らせ

● 授業料の納付（担当：財務部経理調達課収入係）

区 分	納 付 期 限	備 考
授業料……年額535,800円	前期 5月31日	所定の期日を過ぎても納付を怠ったときは、除籍されることがありますので、滞納しないようにして下さい。
前期（4～9月分）267,900円	後期 11月30日	
後期（10～3月分）267,900円		

● 授業料の免除（担当：学生生活課）

下記のいずれかに該当する場合は、本人の申請により、選考のうえ、授業料の全額又は半額が免除されることがあります。また免除のほか、徴収猶予、月割分納の制度もあります。

- 経済的理由（負債は除く）により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合。
- 納期前6ヶ月以内（新入生の1年次前期の場合は入学前1年以内）において、学資負担者が死亡し、又は学生もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合。

授業料の免除、徴収猶予及び月割分納の申請の期日、方法等については前期分（12月）と後期分（6月）の年2回本庄キャンパス学生センターの「授業料免除用掲示板」及び鍋島キャンパス「学生サービス課掲示板」に掲示しますので、注意してください。

（ホームページアドレス <http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/>）

● 奨学金制度（ホームページアドレス <http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/>）

1. 日本人学生（担当：学生生活課）

本学で取り扱っている奨学金の概要は次のとおりです。

(1) 日本学生支援機構の奨学金

教育の機会均等に寄与することを目的として、人物・学業とも優れ経済的理由により修学困難な学生に貸与されます。

(2) 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体の奨学金には、地域を限定し、その地区出身者に限る奨学金や学部・専攻等を指定した奨学金があります。

詳細については、学生生活課に問い合わせてください。

2. 留学生（担当：国際課）

(1) 私費外国人留学生学習奨励費

人物・学業ともに優れている留学生に支給されます。

(2) 民間団体等の奨学金

民間団体等の奨学金には、出身国・出身地域及び学部等を指定する奨学金があります。

詳細については、国際課に問い合わせてください。

学生相談・保健管理センター

● 相談機関

1. 学生相談

学生の皆さんのキャンパスライフのあらゆる疑問や悩み、困っていることを聞いて、その内容に応じて、より適切な解決法や相談員（学内外の関係者）を紹介する「学生なんでも相談窓口」を学生生活課内に設置しています。気軽に相談して下さい。

次のようなことに悩んでいたら相談に来て下さい。

- 単位のこと ● 授業料・奨学金のこと ● アルバイトのこと
- 修了のこと ● 就職・進学のこと ● スポーツ傷害、交通事故のこと等

メール：voice@mail.admin.saga-u.ac.jp

2. 学生の身体・精神面の健康上の相談

保健管理センターの学生相談室は「学生の身体・精神面の健康上の問題」について個人的相談を希望する学生のために設けられたもので、いつでも相談できます。

また、保健管理センターまで行きにくい時は、直接電話で相談することもできます。

電話番号

本庄キャンパス 0952-28-8181

平日 8:30～17:15

土・日・祝日は休みです

3. 専門家によるカウンセリング

佐賀大学学生カウンセラー相談窓口は、学生の皆さんの心や身体の相談ばかりでなく、キャンパスライフのあらゆる疑問や悩み、困っていることなどを支援するために開設しています。

相談は、直接、下記のカウンセラー（学外非常勤）

のメールアドレスか保健管理センター

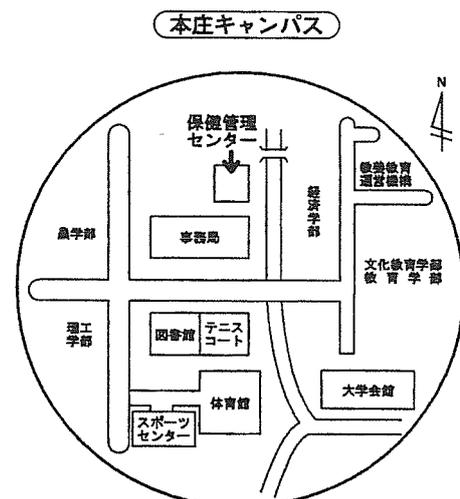
0952-28-8181に連絡して下さい。

kaunseis@mail.admin.saga-u.ac.jp

kaunseyo@mail.admin.saga-u.ac.jp

相談内容等の秘密は堅く守られますので安心して気軽に利用して下さい。

● 保健管理センター案内図



研究図書室の利用

研究図書室について

1. 研究図書室の利用について

- 研究図書館では、必ず受付を済ませてから利用してください。(所属ゼミ，学籍番号・氏名，利用目的などを，備え付けの利用簿に記載する。)
- 利用時間は，8：30から17：15までです。
- その他『利用細則』(添付資料)をご参照ください。

2. 所蔵資料について

- 研究図書室の所蔵資料は，外部に持ち出すことができません。
- 利用後の所蔵資料は所定の場所に必ず返却してください。
- 所蔵資料をコピーしたい場合は，身分証明書(学生証)等を預かることにより，室外での一時的なコピー帯出を認める場合があります。
(院生の方は下記により研究図書室内でコピーすることができます。)
- 所蔵資料については，『所蔵資料リスト』(添付資料)をご参照ください。

3. コピーカードについて

- 院生の皆さんは，年間(4月から翌年3月末の間)1,000枚までコピーができます。
- 個人別のコピーカードを，研究図書室の院生用引き出しにまとめて入れています。
- 利用後は必ず院生用引き出しに戻してください。

4. その他

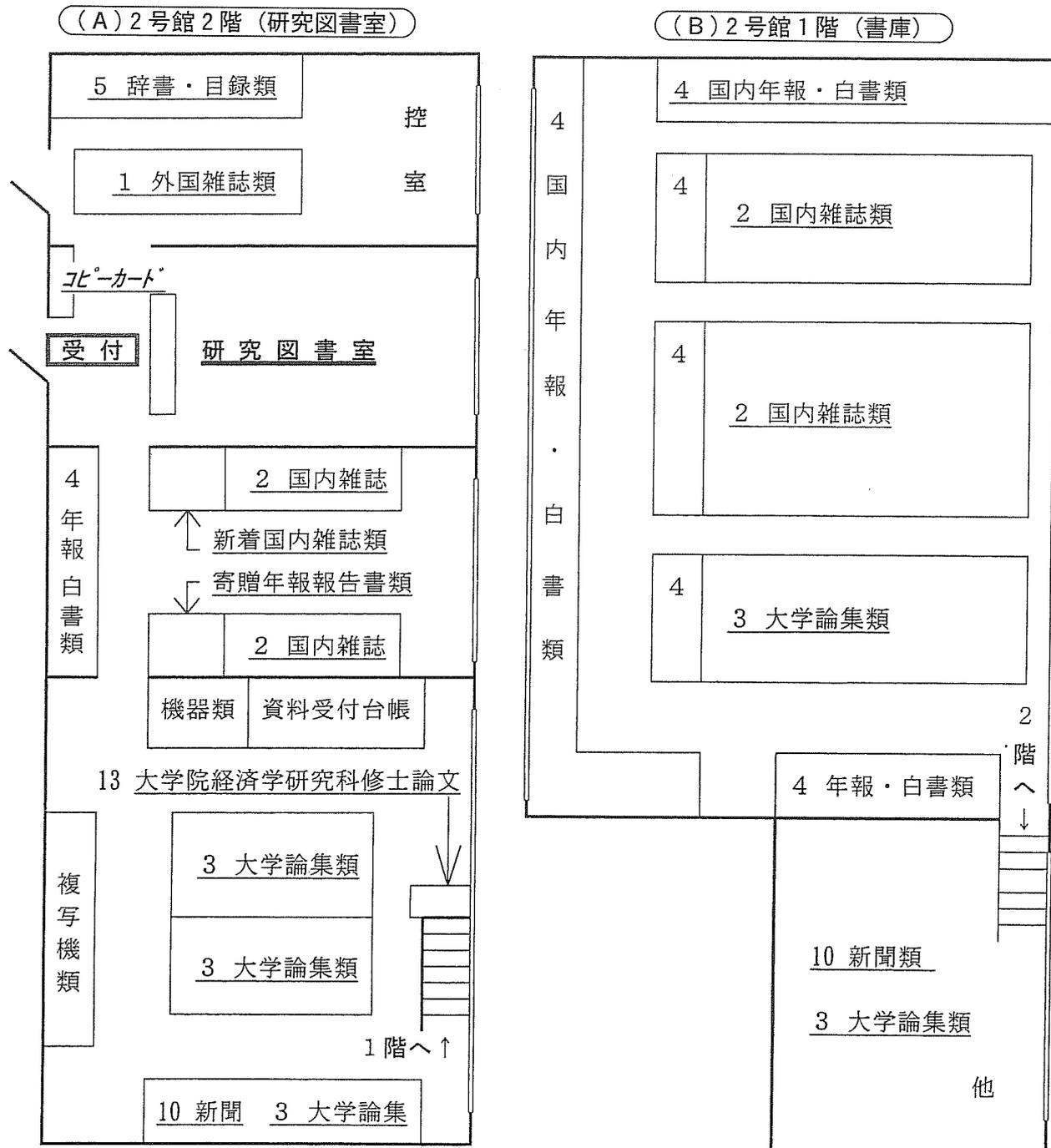
- 研究図書室は経済学部2号棟の2階です。コピー利用だけの場合も必ず受付をしてください。
- * 研究図書室には2名のスタッフがいますので，気軽にお問い合わせください。
(大坪 弘／深町洋子)

所蔵資料リスト (参考)

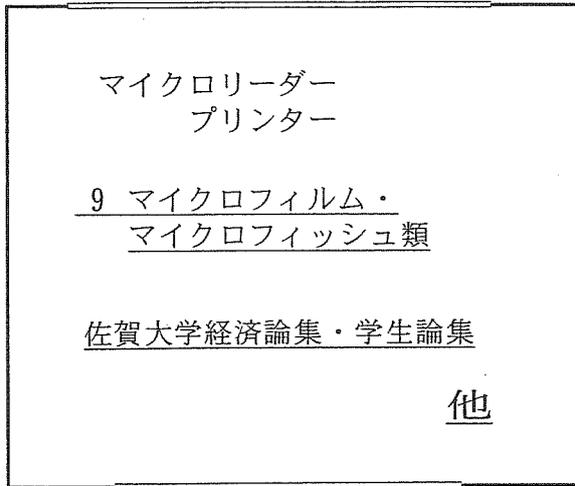
1	外国雑誌類	約 450種 (内継続 220種)
2	国内一般雑誌類(週刊・月刊等)	約 760種 (内継続 250種)
3	国内大学論集・紀要類	約 1,300種 (内継続1,040種)
4	国内年報・白書類(年刊等)	約 500種 (内継続 250種)
	(1～4までの計)	約 3,010種 (内継続1,760種)
5	辞書・目録類	約 430種
6	社史・市史類	約1,950種
7	判例体系類(追録・差し替え)	約 70種
8	大審院関係	3種
	(1) 大審院判例集 3 (大13) ～ 23 (昭20)	
	(2) 大審院民事判決録 13 (明40) ～ 27 (大10)	
	(3) 大審院刑事判決録 13 (明40) ～ 27 (大10)	
9	マイクロフィルム・マイクロフィッシュ類	3種
	(1) 有価証券報告書 (東証1部 昭和24～昭和49)	
	(2) 都道府県統計書 (明治15～昭和17/戦後編なし)	
	(3) THOMAS ROBERT MALTHUS REFERENCES	
10	新聞	4種
	(1) 日本経済新聞(縮刷版)	
	(2) 日経産業新聞(縮刷版)	
	(3) FINANCIAL TIMES(1979-1+)	
	(4) THE WALL STREET JOURNAL(1979-1+)	
11	有明銀行帳簿	約 103冊
12	図書類	約1,500冊
13	大学院経済学研究科修士論文	約 200冊

資料室（内）の配架図（参考）

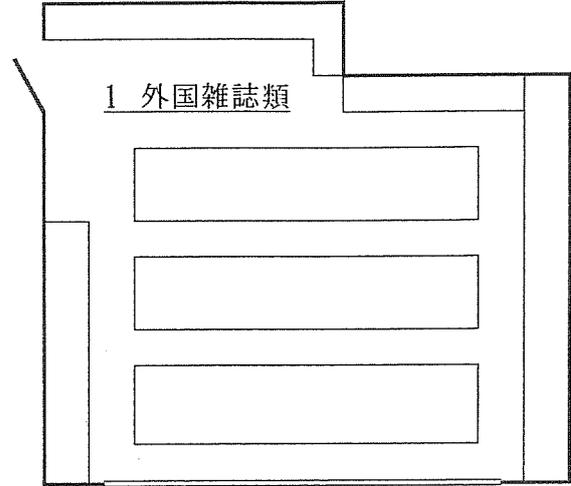
※ 数字の（1～13）は添付資料の『所蔵資料リスト』の番号に対応しています。



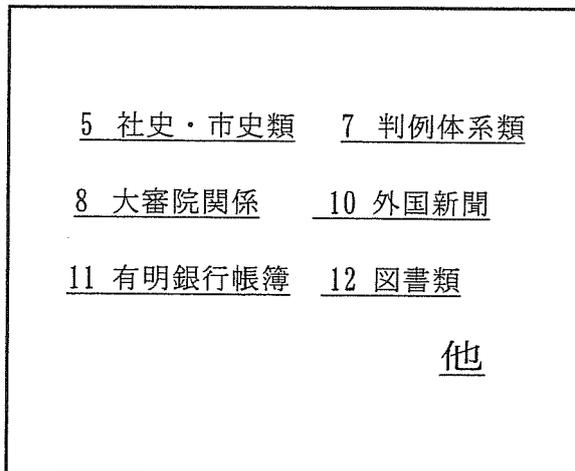
(C) 3号館1階 (資料室)



(D) 3号館1階 (外国雑誌資料室)



(E) 資料室別館 (学生センター棟)



情報演習室の利用

佐賀大学経済学研究科情報演習室等利用について

第1, 第2 情報演習室を利用できる学生は以下のとおりです。

- ① 本学部の教職員
- ② 本学部の学生, 大学院生, 研究生, 科目等履修生及び特別聴講学生
- ③ その他, 情報教育等支援室長が許可した者

第1 情報演習室・第2 情報演習室の利用

第1 情報演習室は原則として正課の授業で利用します。第1 情報演習室を授業で利用しない時間及び第2 情報演習室は原則として特別な手続きなく利用できます。ただし, 次のことに留意し利用してください。

- ① 第1, 第2 情報演習室の利用について不明な点は情報教育等支援室主任の指示に従うこと。
- ② 利用時間は原則として月曜日から金曜日の必要な場合に利用することとする。
- ③ 第1 情報演習室への入室には学生証が必要です (カードによる開錠のため)

(利用者の義務)

利用者は, 情報演習室等の設置目的に従い, 適切な利用をしてください。

特に下記の事項に注意してください。

- ① 室内の喫煙, 飲食はしないこと。
- ② 許可なく備品類を室外に持ち出さないこと。
- ③ ソフトウェアの複製を厳禁する。

地域経済研究センターの利用

研究・教育の成果を地域社会に公開するとともに、地域社会と協力して研究・教育を発展させることを目的に平成元年4月に設置。大学院生の積極的な参加を期待。

(<http://cres.eco.saga-u.ac.jp/>)

1. 調査研究事業部

(1) 調査・研究の推進

- 地域課題調査
- 委託調査

(2) 研究会等の開催

- 「佐賀地域経済研究会」(年6回)の開催

2. 社会連携事業部

(1) 地域との連携

(2) 学生の実践的教育・学習活動の推進

- 実地研修「ウォッチング佐賀」の実施
- 自主的な地域活動への支援

(3) 地域の生涯学習・学習活動への支援

- 佐賀大学公開講座「みんなの大学」

3. 情報化事業部

(1) 資料の収集と提供

- センター年報、調査研究報告書の提供

(2) センターHPの管理

※機関誌※

- 年報
- 所報 本年度の事業計画と前年度の事業報告(毎年6月発行)
- 調査研究報告書 佐賀県が抱える地域課題を中心に不定期に発行
- リーフレット

佐賀大学経済学会のご案内

佐賀大学経済学会は、教員と経済学部学生、大学院生によって組織される学術団体です。

経済学会は、現代社会の経済・法・政治現象および歴史の分析研究の成果を発表する場となっています。この学会は次に説明するようないくつかの活動を行っており、大学院生にも参加、ご協力いただきたいと思います。

1 研究会や講演会の開催

佐賀大学経済学部や他大学・研究機関の研究成果を公表して、ディスカッションする。

2 佐賀大学経済論集の発行

経済学会員の論文をレフリー審査して、1年間に6冊を発行

他大学・研究機関の刊行雑誌と交換して、経済学部研究図書室の資料を充実

3 学術叢書の発刊

1年間に1～2冊を発刊

教員の研究成果をまとめる

4 学生論集の発行

1年間に2冊を発刊

学生の演習（セミナー）論文や、大学院生の修士論文テーマの公表

以上のような4つの活動を支えるために、経済学会に加入していただくことをお願いいたします。会員になるには、会費を1年間に4,000円納めることが条件です。

なお、経済学会の事務局は、経済学部2号棟2階の研究図書室にありますので、ご質問があれば、お尋ねください。（連絡先 28-8452 大坪弘助手）

大学院生室利用規則

佐賀大学大学院経済学研究科大学院生室使用の案内

佐賀大学大学院経済学研究科大学院生室の使用に当たっては、この規則を遵守して下さい。

1. 室内は、常に整理、整頓し、教育・研究環境の保持に努めて下さい。
2. 火災予防に留意し、火気の使用については、備え付け以外の機器を使用しないで下さい。
3. 盗難防止に留意し、現金等は常に身に付けて下さい。
4. 退室の際は、その都度、火気の点検、戸締り及び消灯を励行し、施錠を確実に行って下さい。
5. 備え付けの物品等を無断で移動しないで下さい。
6. 施設・設備及び物品等を損傷又は汚損したときは、速やかに大学院教務担当に届け出て下さい。
7. 寝具等を持ち込み、宿泊は禁じます。
8. 室内での飲食、喫煙は禁止します。
9. 掲示等は、所定の場所以外に行わないで下さい。
10. 大学院生室の使用時間は8時30分～21時30分までとします。
また、毎週日曜の午前3時～4時30分はパソコンが使用できません。
11. ペット、不要な物及び部外者を大学院生室の入室を禁じます。
12. その他研究科長の指示に従って下さい。

